
遊戯王 魔法使いを使う決闘者

白夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王 魔法使いを使う決闘者

【Nコード】

N0816X

【作者名】

白夜

【あらすじ】

遊戯王が大好きな少年、あまつぎゆうや天月遊夜は事故に遭った、そして、目が覚めると、目の前に神がいた。その神からの言葉は転生。しかも行く世界は遊戯王。「神様がいつて言うなら、自分の好きなように生きよう。」これは、転生した少年が気ままに生きていく物語。(注)作者の決闘レベル…低いですが、なので、小説のデュエルタクティクスも必然的に低くなると思いますので、ご了承ください。

プロローグ（前書き）

今回で小説第三弾となります。ネギま系のネタが思いつかないので、気分転換に書いてみました。

プロローグ

俺の名前は天月遊夜^{あまつきまゆしや}、よろしくな！

…だが俺は現在進行系で困っている、何故か？それは車にはねられ、死んだかと思えば、真つ白な空間にいて、いきなり現れた光の玉が老人となり、謝ってきたからだ。

「…すまなかつたな。」

「…何がですか？」

「君を死なせてしまったことだ。」

「…やっぱり俺は死んだのか。」

まあ、死んだとしても、家族は放任主義、友達は…悲しむか、だが時間が過ぎれば忘れるだろう。
現世にもあまり思い入れがないから、死んだとしても問題はないがな。

「…ああ。」

「で、俺はどっちへ行くんだ？天国か？地獄か？」

「いや、転生じゃ。」

「…えっ？」

転生？あのネット小説とかでよくやるあれか？

「いや、世界は複数とあってな、ちょっとしたことで増えるのだ。」

「ちょっとしたことはなんだ？」

「現世では漫画、小説などが増えるなどだ。」

「…つまり、多くの人に知られる物語は現実となり新しい世界になるのか？」

「そう思ってくればいい。所詮、パラレルワールドというやつだ。」

「で、俺はその中のどれかの漫画、小説の世界に行くってわけか？」

「ああ、お前が行くのは遊戯王とやらだ。」

「なぜそれを？」

「お前の記憶を見た限り、それが一番記憶の中の存在が強かったからな。」

確かに、家に家族のいなかった俺は良く家で遊戯王オンラインとかタグゲフォースTFをやっていたしな。

「…で、その世界に行くときに何かくれるのか？」

「ふむ、ならば、これでどうだ？」

そう言っと神は鏡を取り出し、俺に渡してきた。

「鏡？これがどうしたって、ええ…？」

鏡に映っていたのは、某黄金の正三角を探す勇者の顔を遊戯王GX
っぽくしたものだっただ。

これ俺じゃない…。

「あとは、現世で使っていたデッキ類とそのサポートカードやサイ
ドデッキ、また死なぬように護衛用の精霊を付けておこう。」

「あ、ああ、ありがとう。」

よくわからんがこうなりゃやけど、とことんやってやる！

「ならば、送る場所はアテムとやらが帰った冥界の扉からじゃ。そ
こが通り道なのでな。」

「その名の通りだしな。」

「じゃあ、送るぞ。今は何時かなどは荷物と共に手紙を添えておく
から、あとは頼むぞ。」

神がそう言つと、ウジャトのマークがある扉が現れた。
そこでふと、思い出したことを聞いた。

「そこでは、原作破壊などはしてもいいのか？」

「大丈夫だ。問題ない。」

「そうか、じゃあ、俺、いくよ。」

「死なぬよう気をつけろ、後が大変なんだから。」

その言葉を背に、俺は扉へ入っていった。

持ち物確認（前書き）

これを読んでくれてる人、ありがとうございます。こんな駄文を
読んでいただき、光栄です。

持ち物確認

扉を超えた俺の目に飛び込んできたものは、王の記憶の石版、そしておそらく神が送ってきてくれた俺の荷物である。俺はそこからデッキを取り出し、腰のベルトに装着する。そして、何故かデュエルディスクが入っていたので、それも装着してみた。

「おお、マリクが言った通り意外と軽いな。」

デュエルディスクを堪能したあと、遊夜は添えてあった手紙を読み始めた。

『これを読んでいるということは、君は無事にたどり着いたということだろう。とりあえず、そっちの流れはバトルシティとやらの始まる前に送った。ポケットに財布と通帳を入れておいたからそれで日本に行ってくれ。金は定期的に送らせるから。 by 神』

「金が、まあ、見てみるか。」

そう言い、ポケットから通帳を取り出し、見てみると、

「え…？財布に約10万、通帳に1億…？いくらなんでも出しすぎじゃあ、しかも定期的に送るって…。」

『マスター、グダグダ言っていないでさっさと日本へ行ってはどうでしょうか？』

驚いていると、不意に声が聞こえた。

「…ああ、護衛用の精霊か。」

『そのとおりです。マスター。』

そう言い、現れたのは、ブラックマジシャンだった。

「ブラックマジシャンって武藤遊戯の精霊じゃ…?」

『マスター、同じカード精霊は一人だけとは限りませんよ?』

「そ、そうか。」

どうやら、同じカードの精霊は一人だけとは限らないようだ。

『それよりも、早いところ日本にいかないと、バトルシティが始まってしまうですよ。』

「そうだな、でも、ブラックマジシャンじゃ長すぎるから、名前をつけたほうがいいか?」

『そうですね、我ら精霊といえど名前は欲しいものです。』

「そうなのか、じゃあ後で決めておくよ。」

『ええ、ありがとうございます。マスター。』

「ああ、後、マスターはやめてくれ、遊夜でいい。」

『はあ…わかりました。遊夜、これでいいですか?』

「ああ、それでいい。マスターなんてかたつくるしいのはいやだからな。」

『ふふふ、変わった人ですね。では、参りましょうか、日本へ。』

「ああ、案内を頼むよ。」

『はい。』

そのあとは、エジプトの人たちの言葉はわからなかったが、ブラックマジシャンが翻訳などをしてくれたおかげで助かった。飛行機の手ケットは何故かブラックマジシャンが持っていた。

〈飛行機の中の会話?〉

「そついやデッキ確認してなかったな、どついう感じが見てみるか。」

『遊夜のデッキはこつちでは使える強欲な壺などのカードも入れてみては?』

「そつだな、俺はあまり強くないから、デッキのチューニングを助けてくれると助かる。」

『遊夜がそう望むなら。』

〈飛行機の中の会話?〉

「そついや、お前以外の精霊っているのか？」

『私にはわかりませんが、多分もう一人ぐらいはいるのではないでしようか？』

「そつか、ありがとう。」

大波乱を呼ぶバトルシティ開幕まで、後少し。

持ち物確認（後書き）

精霊はブラックマジシャンにしました。個人的に好きなんですよ、ブラマジは。

名前…どうしようか、まあ、俺は後に考えておこう。

あと、最後のは特に意味はありません。伏線？という感じにしておこうかと思えます。

ドミノ町、遊戯たちとの遭遇（前書き）

ドミノ町についたのに、まだバトルシティが始まらない……。
というか、決闘すらしてない……。

まず、原作キャラと関わらせないとまずいのでここで出してみま
した。

一応、主人公が何も付けない文章が心に思ってることで、

（ ）が主人公以外のキャラの思っていること、

『』が精霊の喋っていることです。

主に不意打ちで

「龍児よ！遊戯に敗北した貴様はもはや俺の息子などではない！」

・・・うん、完璧原作だね。ああ、王様の私服、見られると思ってたのに…。

「もうお前に期待することは何もない！俺が自らの手で復讐を果たす！」

しまったかな？ここは遊戯が2度目の千年パズルを組み立てる、下手すると死んでたかもしれない場面だっけ？仕方がないか、多分大丈夫だと思うが、行ってみるか。

「ちょっとどいてくれないか？」

「！？お前は誰だ！？なぜここにいる！？」

「話はあとだ、今は遊戯達と千年パズルを優先しろ。」

あかないか、原作で言った通り内側からしかあかないのか。

ガンツ！

っ！？今の音は千年パズルの鎖を打ちつけたところか

「行けるか？ブラックマジシャン。」

『行けます！』

「ひゃあああああああああああ！！！！」

「！？」

「今の声は、御伽くんのお父さんの！？」

「！！なから煙が！」

くっ、間に合わなかったか！

「獭良！！」

「城之内君！！皆！！」

おお、登場か！遊戯を火事の中から助け出した友情に熱い男、城之内克也！

「遊戯は！！」

「すまない、手っ取り早く説明するぞ！」

「誰だお前は！」

「すまないが黙って聞いてくれいいか、まず、千年パズルを狙ったそのやつが父親が遊戯の千年パズルを組み立てようとしたが、パズルの怒りで出来なかった、しかも投げ捨てたパズルがテーブルのろうそくにあたって火がつき、今に至る！」

「な、なんだと！」

「お前はこの扉を壊せるか!？」

「はっ!壊せるか壊せないかじゃねえ、やるんだよ!」

「やっぱかつこいいな城之内!…俺も手伝おう。」

ドガアアアン!

「待ってる遊戯!今助けてやっからな!」

「城之内君!」

「本田!あとそこのお前!行くぜ!」

「おう!」 「了解だ!」

バキイイツ!!

「よし!扉が開いたゾ!」

「遊戯!」

『お疲れ様でした、遊夜。』

「ふっ、まっただ。」

「城之内君、本田君!」

「御伽君!早くお父さんを連れ出して!」

「ああ！」

「遊戯、すぐ火が回る！行くぞ！」

「遊戯！行くぞ！」

「…僕は…パズルを置いていけない！」

「…！！（パズル…！！）」

ジュ… （熱っ…！！）

（パズルが！鎖が外れねえ！）

「僕はここでもう一度パズルを組み立てる！」

「バカ野郎！何言ってるんだ！すぐにここを離れなきゃ焼け死んじゃうだろ！」

「僕はもう一人の僕を置き去りなんてできない！僕が見捨てて焼け落ちたらパズルはもう僕の手には戻って来ないんだ！」

…あれって、そう簡単に焼け落ちたりしない代物だと思っるのは俺だけか？まあ、気持ちはわからないことはない、大切なものがなくなってしまう時の気持ちは何を起こすかわからないらしいな。

「ここで、一人でパズルを作らせて！最後にもう一人の僕に会わせて…！」

「最後まで「馬鹿かなのかお前は」お前！？」

「最後だと！？お前は何をパズルに望んだんだ！友達が欲しい、だろ！最後じゃない、生きて戻れ！それをパズルの意思是望んでるはずだ！」

「き、君は…？」

「俺のことは後でいい、今は千年パズルを組み立てることに集中しろ！」

「う、うん、分かった！」

「遊戯、無理じゃ！火が回るまでの時間でパズルを組み立てることなど…「無理じゃない。」「え？」

「武藤遊戯！2度目の組み立てで、お前は何を望む！？」

「僕は…もう一人の僕に会いたい！」

「それでいい、パズルはそのものの心で所有者を決める！それまで行ける限りは俺たちが守ってやる！」

「おい、お前何勝手なことを！」

グラツ・・・

「遊戯！危ない！！！」

仕方がない、実体化はできるか？ブラックマジシャン！

『行けますよ、遊夜！』

よし、行くか！

『「黒・魔・導　！！」』

ズガアアアアン！！

…え、2500でこんな強いのか？え？じゃあカイザーの16000
0って実体化したらやばくない？しないけど、

そう思いながら振り返ってみると、唾然とした表情で俺を見つめて
いた…動こうぜ…

「おい、遊戯、早く千年パズルを組み立てろ。そしてあんた等は早
く外に出ろ！危ないから。」

「でも、目的もわからない赤の他人に遊戯をあずけるなど…。」

「なら、俺も一緒に残って遊戯を待つぜ！」

「…遊戯を頼んだぜ、城之内、遊戯を必ず連れて帰ってきてくれ。
…そしてお前、帰ってきたらいろいろ聞きたいことがある、逃げる
なよ。」

「ああ、分かった。」「ああ、心配すんな。」

（俺はまだコノヤローを信用は出来ないが、遊戯、絶対に三途の川
はわたらせねえ！岸まで行ったら、てめーをぶん殴っても連れ帰
るぜ！）

…くっ…、熱いな、色々ばやけてきてるな…。

「ブラックマジシャン、今、パズルはどうだ…？」

『はい、いま、ほとんど出来てきています。』

…早いな、それに 黒・魔・導 で落ちてくるものを壊しているから結構うるさいと思うのに、まるで気にしていない、…っ！城之内が走りだした！パズルができたのか！ならもうここに用はないな、二人を連れて外まで行くだけだ！

「よける！ 黒・魔・導！」

ドガッ！

「さっさと行くぞ！ブラックマジシャンが道を作る！そこを通ってきてくれ！」

くそっ！目がかすむ！いくらブラックマジシャンが魔力で俺や遊戯たちの体を被ってくれていても、熱すぎる！

「見えたぞ！出口だ！」

『では、私は見つかるはずいのもう一度精霊化します。』

「ああ、ありがとう、ブラックマジシャン。」

俺たちが外に出ると、遊戯の親友達が集まってきた。

「遊戯！城之内！お前も無事だったか！」

「ああ、こいつが助けてくれたからな。」

そうやって俺を指さしてくる城之内、やばい…ブラックマジシャンを、精霊を無理矢理実体化させたから、体への負担が…。

そこから、俺の意識はブラックアウトした………。

ドミノ町、遊戯たちとの遭遇（後書き）

バトルシティ開幕までまだまだ掛かりそうです。

主人公のこと、どう説明しよう…。

ブラックマジシャンの名前、出来たらコメントをください。

次回は、多分、病院で決闘をします、ペガサス島編ではなく、生贄が必要なバトルシティルールで。

病院で和解、そしてデュエル（前書き）

ちなみに、遊夜は精霊の同意があれば実体化の負担はないが、前回は勝手に実体化させたので、負担がきました。その負担は、モンスターレベルが高いほど大きくなります。ちなみに、駄文のデュエルです。デュエルって書くの面倒くさい…。

病院で和解、そしてデュエル

俺が目を覚ますと、そこは知らない天井だった。

「知らない天zy」あ、起きたんだね！」最後まで言わせてくれ…。

「

あのセリフを言ってみようとしたが、俺が起きたと気づいた遊戯の
声にかき消された。

…城之内たちもいるね、…あれ？御伽は？まあいいか。

「よう、お前たちも千年パズルも無事だったのか。」

「うん、おかげさまでね。」

無事なのは分かっていたが、やはり本人から聞くと安心する。

「そうか、…なあ、アテ…もう一人の遊戯は出られるか？」

あぶねえ…思わずアテムと言ってしまっところだった！

「そのことだけど…何故、それを知ってるの？」

…やっぱり聞かれるか。ほかのみんなも聞きたがってるし…言っ
て
も
い
い
か
な
？

『いえばいいじゃないんですか？遊夜。』

いきなり出てこないでくれ、遊戯たちもびっくりしてるから

「それ、やっぱりブラックマジシャンだよね…。」

これは言ってもいいか。

「ああ、このカードには精霊が宿ってるからね。」

「は？カードに意思がつくことなんてあるわけないだろ？」

「いいや、ペガサスはエジプトの壁画にあったものを千年目と共に
カードに封印した精霊が宿るカードがごく一部あるんだ。」

「そんなことが…」

いやいや経験あるだろペガサス島編で

「海馬瀬戸のデッキを奪ったプレイヤーキラーが出した青眼も消え
ただろ、あれも一応精霊カードだ」

「なっ！海馬の青眼は精霊のカードなのか！？じゃあさ、俺に精霊
は付いてるか！？」

「どうだ？ブラックマジシャン？」

『いないですね。千年パズルを持ちし少年のデッキの私とクリボー
は精霊ですが。』

あ、やっぱり？

「え？僕のブラックマジシャンとクリボーも精霊なの？」
『俺も初めて知ったぜ』

「俺にはいないのか……。」

アテム出てきた… あ、城之内が落ち込んでる。…ってあ、

「忘れてた。俺の名前は遊夜、天月遊夜だ。」

「あ！そういえば名前をまだ教えてなかったね、僕は「知ってるぜ、ペガサスのマインドスキャンをもう一つの心とマインドシャッフルと千年パズルの結束の力で打ち勝った武藤遊戯だろ。」…だからなんでそんなこと知ってるのさー！」

ふ、だが俺はまだ言わない、あえて無視をする！

「で、そっちが真紅眼レッドアイズと千年竜サウザントドラゴンを駆使して勝った…と言っても、真紅眼はもとは竜崎のカードか、準優勝者、城之内克也。」

「おお！俺も有名になったものだぜ！」

あ、喜んだ、妹の手術代のために出場した初心者が良くいけたよな。

「なあなあ！デュエルしようぜ！」

いきなり何を言うのさ城之内君断る理由がないからもあるが、

「売られたデュエルは買うのが礼儀だ！」

デュエルに關すると、こごう性格になるんだよなあ…。

「よっしゃ！じゃあいくぜ！」

遊夜 LP4000 城之内 LP4000

「俺の先行！…俺も大概チートドロいな…。」

遊夜 手札5 6

いくらなんでもこの手札は…。

「どうしたんだ？」

ブラマジガール…今見せてもいいのか？いいよな。

「なんでもない、俺は召喚僧サモンプリースト（攻撃力800）を召喚そして効果で守備表示になる（守備力1600）、そしてデイメンションマジック、場の魔法族モンスターをリリース、もとい生贄にして手札から魔法使い族を特殊召喚する。俺はサモンプリーストを生贄とし、ブラックマジシャンガール（攻撃力2000）を召喚、そして手札から魔法カード発動、賢者の宝石、これは場にブラックマジシャンガールがいる場合発動できる、手札、デッキからブラックマジシャン1体特殊召喚できる。こい、ブラックマジシャン（攻撃力2500）。」

遊夜 手札6 2

場

- ・ブラックマジシャン（攻撃力2500）
- ・ブラックマジシャンガール（攻撃力2000）

「手札からフィールド魔法発動、魔法族の里、これは自分の場に魔法使い族がいる場合のみ、相手は魔法が使えなくなる、俺の場に魔法使い族がいなければ、俺は魔法カードが発動できない、城之内も魔法使い族を召喚するか、俺の場のモンスターを全滅させるかをすれば魔法が使えるようになるぞ。」

そして、魔法カード発動天よりの宝札、このカードはお互いの手札が6枚になるようにドローする。俺の手札は0、よって6枚ドロー。」

「俺は一枚ドローだ。」

城之内の顔に焦りが見えないってことは時の魔術師が罠カードが手札にあるのか。

でも、なんかごめん、城之内。

「場のレベル6以上の魔法使い族2体をリリースし、手札から黒の魔法神官（攻撃力3200）を特殊召喚！」

「こ、攻撃力3200だと!?!」

これが今の俺のデッキの切り札なんだぜ！そして城之内！こいつは只単に攻撃力が高いだけじゃないんだぜ！

「こいつの効果はこのカードが場に出ている間、罠カードの発動と効果を無効にすることができる！」

「な、なんだと!」

城之内のデッキは罠カードでモンスターを奪うのが主なデッキ、な

ら、罨を無効にすれば怖くはないぜ！

「俺は魔法族の結界を発動し、カードを伏せ、ターンエンド！」

確かバトルシティは場には5枚しか置けなかったよね、魔法、罨も1ターンに1枚ずつしかふせられなかったし。そして、王宮のお触れが来ない。

遊夜 手札6 3

場

・黒の魔法神官（攻撃力3200）

・魔法族の結界

・罨カード

・魔法族の里

「俺のターン！」

城之内 手札6 7

「天月！お前、すげえな！」

「遊夜でいい、城之内、お前のデッキとの絆を見せてくれ！」

「ああ！見せてやるぜ遊夜！！いくぜ！時の魔術師（攻撃力500）！」

「やっぱりあったか！時の魔術師！」

「効果発動！コイントスをし、表が出たら相手モンスターを全滅さ

せ、裏が出たら俺の場のモンスターが全滅し、その合計の半分のダメージを受ける！いくぜ！コイントス！…表だ！いけ！タイムマジック！」

ああ、俺の切り札が一瞬でやられた・・・。

ベッドの上でやってるからソリットビジョンシステムがないが、あったらどうなってやられていくのかが気になる…。

魔法族の結界カウンター 0 1

「さあ行くぜ！時の魔術師でダイレクトアタック！」

だが、ダメージをもらう気はないぜ！

「リバースカードオープン！マジシャンズ・サークル！」

「何！？」

「このカードは魔法使い族の攻撃宣言時に発動できる！お互いのデッキから攻撃力2000以下の魔法使い族を1体特殊召喚する！」

「くっ、俺のデッキにはもう魔法使い族はいないぜ・・・。」

「なら、俺だけが召喚だな、来い！霊滅術士カイクウ！（攻撃力1800）」

俺のデッキの低レベルアタッカー其の一だ！

「くっ、攻撃を中断！メインフェイズ2でカードを2枚セット！ターンエンド！」

城之内 手札 7 5

場

- ・時の魔術士(500)
- ・伏せ魔法カード
- ・伏せ罨カード

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札 3 4

場

- ・霊滅術士カイクウ(攻撃力1800)
- ・魔法族の結界カウンター 1
- ・魔法族の里

(俺の手札に除去カードはないが、ここは、臆せず踏み込むぜ！)

「俺はクルセイダー・オブ・エンデイミオン(攻撃力1900)を召喚！そしてカイクウで時の魔術師を攻撃！」

「リバーズカードオープン！天使のサイコロ！このカードは攻撃力500以下のモンスターをサイコロの出た目だけ倍加する！そして悪魔のサイコロ！このカードはサイコロを振り、でた自分攻撃モンスターへの攻撃力を割る！…出た目は4と2！時の魔術師の攻撃力は2000！カイクウの攻撃力は900だ！タイムマジック！」

「ぐっ！」

おいおい、まさかのサイコロコンボか、アニメ版卑怯すぎるだろ悪魔のサイコロ！収縮の運だより版とはいえ、上位じゃねえか。だが、魔法族の結界にカウンターが乗る！

魔法族の結界カウンター 1 2

遊夜LP 4000 2900

「おれはカードを1枚伏せ、ターンエンド。」

遊夜 手札 4 2
場

・クルセイダー・オブ・エンディミオン（1900）

・伏せ罫カード

・魔法族の結界カウンター 2

・魔法族の里

「俺のターン！」

城之内 手札 5 6

「俺はパンサーウォリアー（攻撃力2000）を召喚！」

今だ！

「リバーズカードオープン！魔法族復活の棺！このカードは相手がモンスターを召喚したとき発動可能！そのモンスターと自分の場のモンスター、クルセイダー・オブ・エンディミオンをリリースし、墓地の魔法使い族モンスターを特殊召喚する！甦れ！ブラックマジシャン（攻撃力2500）！」

「ぐっ、だが、時の魔術師の効果発動！コイントス開始、…失敗…
…だど…」

いやいや城之内、そんな連発してたらどれかは外れるさ。むしろ王国で一回しか失敗しなかった君の運の良さがほうが異常なんだが。

「くっ、効果で自分の場のモンスター、つつつても時の魔術師しかないんだが、を全て破壊し、その攻撃力の合計の半分のダメージを受ける！」

ついでに場の魔法使い族が破壊されたことで魔法族の結界にカウンターが乗る

魔法族の結界カウンター 2 3

城之内 LP 4000 3750

城之内 手札 6 5

「カードを伏せ、ターンエンドだ。」

城之内 手札 5 3

場

- ・伏せ魔法カード
- ・伏せ罨カード

「俺のターン、ドロー」

遊夜 手札 2 3

場

- ・ブラックマジシャン（攻撃力2500）
- ・魔法族の結界カウンター 3

・魔法族の里

「…俺は手札から魔法発動、黒・魔・導！これはブラックマジシャンが場にいる場合、相手の魔法・畏をすべて破壊する！」

「ぐうっ！」

破壊されたのはスケープゴートと落とし穴か、あぶねえ…

だが、俺の手札に攻撃力1250以上のカードはねえ…。なら！

「俺はガガガールを召喚！そして、魔法族の結界の効果発動！このカードと場の魔法使い族を1体墓地に送ることで、カウンターの数だけドローする！」

遊夜 手札3 2 5

来たぜ、第3のエースモンスター！

「俺は墓地の光属性、クルセイダー・オブ・エンディミオンと闇属性、黒の魔法神官を1体ずつ除外し、カオス・ソーサラーを特殊召喚！」

遊夜 手札5 4

「2500と2300…俺の負けか…。またやるうぜ！次は負けねえからよ！」

こう言われたら、こう言い返すしかないだろ！

「ああ、だが俺ももつと強くなってるから、負けねえぜ！いけ！2
体でダイレクトアタック！」

ブラックマジシャン（攻撃力2500）
カオス・ソーサラー（攻撃力2300）

城之内LP3750 1250 -1150

遊夜LP2900

「はあく、負けかあ…。」

「なあ、手札を見せてもらっていいか？」

「ああ！いいぜ！」

そう言つて手札を見せてくる。…残りの手札がルーレット・スパイ
ダー（魔）と確率変動（罫）、鉄の騎士ギアフリード（攻撃力18
00）かよ、…魔法族の里なかつたら負けてたかもしれないな…。
え？てか確率変動つてRのカードじゃ…。

「いいデュエルだったよ！」

「ありがとう、武藤。」

「遊戯でいいさ！それより、その魔法使い族デッキ、すごいね！デ
イメンションマジックで上級モンスターを召喚しつつ、相手モン
スターを破壊して、なおかつ魔法族の里や黒の魔法神官でロック、す
ごいよー！」

これはアニメ版のカード（天よりの宝札、黒魔族復活の棺）もいれたから強いのであって、元の世界じゃ勝ち数はまあまあだったけどね。それより、なぜかもう警戒心が薄れていつてるんだけど…。

『クリクリ〜。』

「え？クリボー？」

「うん、そうだよ。クリボーはこの人は悪人じゃないって。」

…あるえー？この時って、遊戯精霊見えてたっけ？

なんかもうすでに原作崩壊し始めてないか！？

…まあいいか。何かどつと疲れた。

病院で和解、そしてデュエル（後書き）

今回はじめてのデュエルでしたね。今回は、時の魔術師が魔法じゃない、確率変動がある。ちなみに確率変動を引いたのはパンサーウオリアーを召喚したターンです。ガガガールはガガガマジシャンとあわせて黒の魔法神官を呼べるようにと調整した結果です。次回はグールズとデュエルでもしてマリクに目をつけられるかな。

グールズ(前書き)

デュエル内容が地味になりました。すいません。やはり、シンクロナ
無いと展開力が…。

グールズ

よう、俺の名前は天月遊夜、病院で遊戯たちと仲良くなって、遊戯にブラマジの名前をつけてもらった。名前はシーク、ゼル○臭がするが、シークレット（秘密）を短縮したもらしい、理由は、ブラツクマジシャン達精霊の力を世間が知ったら、利用するかもしれないから、だって、…うん、なんかますますゼル○と同じ理由っぽいと思うのは俺だけか？…まあ、ブラックm…シークは名前をもらって嬉しそうだったのでよしとしよう。で、今は無事退院し、亀のゲーム屋で遊戯、城之内とデッキを作って、試作デュエルをし終わり、家に帰っている途中だ。

「おい、貴様、私と戦え。」

いきなり話しかけてきたのは、ウィジャトのマークがあるフードをかぶっている男たちだった。全員額にウィジャトがあるから、おそらくマリクだろう。

「…何のようだ、レアハンター…いや、マリク・イシュタール。」

「っ！？やはり、数日前から部下にお前を見張らせていたが、なぜ貴様が我ら墓守の秘密などを知っている！？」

「ふっ、他にも知ってるぜ。グールズのボスマリクさん。」

「っ！？ふっ、いいだろう！この千年ロッドで記憶を探ってどうい
て知ったのかを見させてもらう！」

シーク、頼むぞ。

『はい、黒・魔・導！』

「ぐああああ！？」

驚いてる驚いてる。…？なぜ驚く？

何故デュエルモンスターズカードが実体化したぐらいで驚く…？
闇のゲームで実体化するだろ？

「君も何らかの闇のゲームができるようだね…そして、どうやら君に洗脳術は効かないみたいだ…ならこうしよう、天月、僕とデュエルしろ！」

「…いいぜ、やってやるよ。」

ラーはデッキに入ってなく、しかもそれは扱いにくいエグゾディアデッキ。

少なくとも、俺のいた世界じゃ1枚しか入れられなくても揃える奴がわんさかいるからな。

「さあ行くぜ！」 「^{デュエル}決闘！！！」

遊夜LP4000 レアハンター（マリク）LP4000

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札5 6

「俺は魔導騎士ディフェンダー（ATK1600）を召喚！そして

ディフェンダーに魔力カウンターが乗る！」

ディフェンダー 0 1

「そして、カードを二枚伏せ、ターンエンドだ。」

遊夜 手札 6 3

場

・ディフェンダー（ATK1600）

・魔法カード

・罾カード

「僕のターン。ドロー。…ふむ、僕は、サファイア・ドラゴン（ATK1900）を召喚、そして、スタンピングクラッシュを発動、デッキ側のセットを破壊。そして攻撃！」

「何！？ぐううう！」

遊夜 LP 4000 3500 3200

場

・ディフェンダー（攻1600）

・魔法カード

つう…あのエグゾディアデッキ、防御型デッキじゃなかったのかよ。

「だが！ディフェンダーの効果！魔力カウンターを取り除き、破壊を無効！」

ディフェンダー 1 0

「私は魔法カード発動、強欲な壺、カードを二枚ドロー、そして天使の施し、カードを3枚ドロー、そして2枚捨てる、さらにカードを一枚伏せ、ターンエンド。」

レアハンター 手札5 6 4 5 7 5 4

・ サファイア・ドラゴン（ATK1900）
・ 魔法カード

「エンドフェイズ時、リバーズ発動！速攻魔法サイクロン！そのセツトカードを破壊する！」

そして俺のターン！ドロー！俺はディフェンダーを生贄にし、サイバネティック・マジシャン（ATK2400）を召喚！そしてバトルフェイズ！サイバネティックでサファイア・ドラゴンに攻撃！」

「ぐっつー！」

レアハンター LP4000 3500

「（これ以上何もできない…）ターンエンド。」

遊夜 手札3 4 3

・ サイバネティック・マジシャン（ATK2400）

「私のターンドロー。…モンスターをセットし、ターンエンドだ。」

レアハンター 手札3 4 3
場

・セットモンスター

「俺のターンドロ―！俺は魔導騎士ディフェンダー（ATK1600）をもう一体召喚！そしてサイバネティックの効果発動！手札を一枚捨て、ディフェンダーの攻撃力を2000にして、2体で攻撃！」

サイバネティック・マジシャン（ATK2400） 起動砦のギア・
ゴーレム（DEF2200）

「そしてディフェンダーでダイレクトアタック！」

レアハンター LP3500 1500

「お前、大したこと無いな、カードを伏せ、ターンエンド。」

遊夜 手札3 4 3 2
場

・サイバネティック・マジシャン
・魔導騎士ディフェンダー

「くっ、ドロ―…！ふふふ…モンスターとカードをセット、光の護符剣を発動、そして天よりの宝札！私はカードを6枚ドロ―。ターンエンド。」

「俺は4枚ドロ―」

・・・お前3枚ずつ入ってるエグゾディア引いてねえのか!?

レアハンター 手札3 4 1 0 6
場

- ・セットモンスター
- ・罨カード
- ・光の護符剣

だが、表マリク、選択をまちがえたな。

「俺のターン！ドロー！死者蘇生を発動！来い！ブラックマジシャン！（ATK2500）そして強欲な壺！効果でカードを二枚ドロ！いま引いた千本ナイフを使い、お前のセットモンスターを破壊！そしてもう一枚、黒・魔・導を発動！その光の護符剣とセットカードを破壊！」

遊夜 手札6 7 6 7 5

場

- ・ブラックマジシャン（ATK2500）
- ・サイバネティック・マジシャン（ATK2400）
- ・魔導騎士ディフェンダー（ATK1600）

「くっ…セットモンスターはマシユマロン…。そして、セットカードは聖なるバリアミラーフォース…。くっそおおお！」

「3体で止め！」

「ぐあああああああああああああああああ！！」

レアハンター LP1500 - 1000 - 3400 - 5000
遊夜 LP3200

「くっう！…僕が負けるとは…！」

「やはりそれはレアハンターのなかで最弱と言われていた奴のデッサキか。」

「そうだ、なぜそれを知っているか知りたいが、敗者に言い分はない、負けは負けだ。悔しいが、今回はここで引くよ。」

そう言っつてグルズ全員去っていった。変なところで素直だなマリク。

…あ、そっいやここ表側守備出来たな…しまった、プレイミスしてしまったか。

そっいやこのあとに城之内真紅眼取られるんだっけ？

遊戯が海馬に勝つためにも、マリクの洗脳術を解くためにも遊戯が持ってなきゃいけないよな。

さて、どっかのホテルに泊まって寝るか。

グールズ（後書き）

初期手札は、シーク、ディフェンダー、サイクロン、マジシャンズ・サークル、死者蘇生で、次に引いたのがサイバネティック・マジシヤン、その次がディフェンダー、そして最後が強欲です。

海馬戦…積み込み？DM6よりはましだ。(前書き)

はい、デュエルというのは難しいですね。やるのは簡単なのに…詰めデュエル考える人はすごいですね。

海馬戦…積み込み？DM6よりはましだ。

俺は今日、海馬コーポレーションにいる。というか、ホテルで寝て朝起きたらここにいた。

「ふうん…貴様が遊戯の言っていた決闘者か。」

そして、目の前に海馬瀬戸がいる。

「はぁ……。」

そう、遊戯が海馬に俺のことを話してしまい、興味をもたれたようだ。

「ふうん、まあいい、おい、貴様、俺と戦え。」

「いいえ……ですよ。」

あぶね、デュエル脳が活性化して言葉使いが……！

「ふうん、ではKCの屋上に来い。あとは頼むぞ、木馬。」

「ハイ！兄様！俺が連れていくよ。」

あ、木馬だ。後半いいキャラなんだよな、兄思いだし。

「ああ、頼むよ。」

ということで

「頑張れよー！遊夜ー！」

「頑張つてー！遊夜君！」

なんか来たたら遊戯や城之内たちのギャラリーが…？あれ？バトルシティって今日じゃ…。

「何を言っている、もう始まっているぞ、バトルシティ。」

え？

「ふうん、遊戯がライバルと認めた貴様を倒そうと宣伝したら集まった。そしてこのデュエルはリアルタイムで放送される。」

…ええ…。

しかも遊戯のやつ俺をライバルとか…そりゃ海馬にも興味持たれるぜ。

「…後には引けないか…いいよ、戦おう。」

「行くぞ！」

「『デュエル！！』」

海馬LP4000

遊夜LP4000

「俺の先攻！ドロー！」

海馬 手札6

「ふうん。俺はブラッド・ウォルス（ATK1900）を召喚！カードを2枚伏せ、ターンエンド。」

海馬 手札6〓3

場

・ブラッド・ウォルス（攻1900）

・魔法

・罨

・・・なんかデツキ破壊きそうなんだぜ・・・。
だが！俺は負けない！

「俺のターン、ドローする。」

遊夜 手札6

手札にはブラッドウォルスを倒せるカードがあるが、どうするか・・・。

「・・・俺は召喚僧サモンプリースト（守1600）を召喚。カードを2枚をセット、ターンエンドだ。」

遊夜 手札6〓3

場

・サモンプリースト（守1600）

・魔法

・罨

いや、ここは耐えよう。

「俺のターン！ドロー！ふうん！やられ専門の雑魚モンスターか。そんなもの蹴散らしてくれるわ！ブラッドウォルスの攻撃！「速攻魔法発動！デイメンション・マジック！」なに！？」

「効果で魔法使い族をリリ、生贄にし、手札から、来い！ブラック・マジシャン！」

『早速、おでましですか。』

ああ、頼むぞ。シーク。

「効果発動！フィールドのモンスター一体を破壊！」

「ふははははははは！それにチェインし、リバースカードオープン！収縮！そして死のデッキ破壊ウイルス！これで貴様のモンスターは抹殺だ！」

海馬が高笑いを始める。

「あのデッキ破壊コンボ！？」

「やばいぜ！？どうすんだ遊夜！？」

・・・これ、一回言ってみたかったんだよな。

「そいつはどうかかな？」

「なに？」

「リバーズ発動！永続畏、王宮のお触れ！」

「な、なにに！？」

「魔法、畏の無駄打ちになったな。効果で畏は無効化される！ブラット・ウォルスは破壊だ！」

「くう！・・・モンスターをセット、カードを伏せ、ターンエンドだ。」

海馬 手札3〓4〓2

場

・セットモンスター

・魔法

「俺のターン！」

遊夜 手札4

「俺はフィールド魔法、魔法族の里を発動！その効果でお前は魔法を発動できない！」

「ロツクだと！？」

「そうさ！これが俺の戦い方さ！俺は魔法カード発動！強欲な壺！」

遊夜 手札4〓3〓4

「さらに！ブラックマジシャンをリリースし、ブラックマジシヤン
ガール（2000）を召喚！そして魔法カード発動！賢者の石サバ
ティエル！こいつはLPを半分使い、自分デッキ、墓地から好きな
カード一枚手札に加えたあと、デッキに戻る。俺は賢者の宝石を選
択！」

遊夜LP4000〓2000

「ふっ、俺は今、手札に加えた賢者の宝石を使い、デッキからブラ
ックマジシヤン（攻2500）を召喚！」

『今日は何度も召喚されますね。』

「またブラックマジシヤン……。」

「スゲエ……。」

「レベル7をいとも簡単に何度も……。」

「兄様が押されてる……？」

「バトル！ブラックマジシヤンガールでセットモンスターを攻撃！
ブラック・バーニング
黒魔導爆裂波！」

「セットモンスターは鉄腕ゴーレム（守2200）！2000では
破壊され……なっ!？」

「ブラックマジシヤンガールは墓地のブラックマジシヤン1体につ
き300攻撃力を上げる。よって攻撃力2300！そしてブラック
マジシヤンの追撃！黒・魔・導！」

ブルーアイズ達よ！その雑魚共を蹴散らし、我が手に勝利を収めよ！
滅びのバーストストリーム！！」

3体の攻撃を受けたらLP1400になるが、まだ甘いぜ海馬！
この王宮のお触れが場に出ている間、罠が発動できないだけで、無くなればいいんだからな。

「速攻魔法発動！サイクロン！効果で王宮のお触れを破壊！これで罠がつかえる！」

「だが、ロードオブドラゴンが居る限り、ブルーアイズ達に魔法、罠は効かない！」

「知ってるさ！リバースカードオープン！聖なるバリアミラーフォース！これで、ロードオブドラゴンだけは破壊する！」

「だが攻撃は止まらぬぞお！」

「ぐっ。」

遊夜LP2000＝1300＝800 手札2

場

・魔法族の里

「ふうん、善戦したが、これで終わりだ。カードをセットし、ターンエンド。」

海馬LP1500 手札1

場

・青眼の白龍（攻3000）

- ・青眼の白龍（攻3000）
- ・罨

『遊夜、大丈夫ですか！？』

「ああ、大丈夫だシーク…。俺の・・・ターン！」

遊夜LP800 手札3

ドローカードが…光った？…ああ、TFのデステイニードローか。

「…俺は！魔導騎士ディフェンダー（攻1600）を召喚！そして魔法カード、死者蘇生を発動！甦れ、ブラックマジシャン（攻2500）！」

「モンスターを召喚してダイレクトアタックを防ごうとしているのか…甘いな。」

なんでそう勝手に決めつけるかな…。

「違うぜ・・・攻撃表示だ！手札から天よりの宝札を発動！」

このカードに賭ける！

「ふうん、俺は5枚ドロー。」

「俺は6枚ドロー。…！」

また来てくれたか、サバティエル。

「賢者の石サバティエルを発動！LPを半分にし！デッキから黒の魔法神官を手札に加える！また、ディメンション・マジックを発動！ディフェンダーを墓地に送り、現れる！サイバネティック・マジシャン！効果で青眼の白龍を破壊！」

遊夜LP400 手札3=6=4

場

- ・ブラックマジシャン（攻2500）
- ・サイバネティックマジシャン（攻2400）
- ・魔法族の里

「ふはははは、そんなものじゃ俺のブルーアイズには勝てん！」

「魔法カード、一族の結束を発動！この効果は墓地にあるモンスターの種類が1つだけの時、その場にいる同じ種族のモンスターの攻撃力を800上げる！」

「なん・・・だと・・・？」

ブラックマジシャン（攻2500=3300）

サイバネティック・マジシャン（攻2400=3200）

「サイバネティックの効果！手札を一枚捨てることに場のモンスター1の攻撃力を2000にする！」

青眼の白龍（攻3000=2000）

「そして場のレベル6以上の魔法使い族2体を生贖にし、こいつを特殊召喚する、来い！黒の魔法神官（攻3200）！」

「こ、攻撃力が3000のブルーアイズより高い…だと…!?!」

「きたよ遊夜君のエースモンスター!」

「ああ、きやがったぜ!」

あれ?なんか勝手にエースになってるな黒の魔法神官。…まあいいか。

「一族の結束の効果で攻撃力4000!」

「俺のオベリスクと同等だと…!?!」

「黒の魔法神官の攻撃!」

「くっ畏カード発ど!無駄だ!黒の魔法神官が場にあるとき、畏カードの発動と効果を無効にできる!」ば、馬鹿な!?!」

「くらえええ!」 「ぐあああああああああ!」

海馬LP1500||1500

遊夜LP800

…実際、黒の魔法神官出さなくても勝ってたな。なんか出したら海馬に精神ダメージがあるかと思ったがそのとおりだったな。破壊輪か…どっちみち手札のデイモンション・マジックで勝てたな

「遊夜の奴、海馬に勝ちやがった…。」

「すごい…やっぱりすごいよ遊夜君は！」

「そんな…兄様が負けるなんて…。」

「…あれ？これ全国放送ネットだけ？…」（冷や汗ダラダラ）

『調子に乗りましたね…。』

しまった…。

「くっ、パズルカードだ…そして、…このカードを…」

…げっ、オベリスク…。

「…知らない、それはあんたが持つてるほうがいいでしょう。パズルカードだけでいい。」

だろうな。一応こんな召喚の重いカードもらっても意味ないし、一族も無意味になるし。

「むう…ルールはルールだ…。」

うん…なら…。

「ならば、代わりに魔法使い族のカードをいただけますか？」

「ふうん、なら、我が社にあるカードを一枚好きなものを持っていくがいい。」

「ありがとうございます。」

…バトルシティが始まったか。
俺はいつたいどうすりゃいいんだろつな。

『自分の好きなように生きよう。あなたがそういったんじゃないですか。』

シーク…

「そうだな。じゃあ、このバトルシティで優勝を目指すか。」

『はい、遊夜の仰せのままに。』

よーし！待ってる！俺の、俺たちのバトルシティ！

海馬戦：積み込み？DM6よりはましだ。（後書き）

はい、拉致です。拉致されました。バトルシティ編では、レアハンターを倒し、真紅眼を手に入れ、別れて、羽賀を倒し終わった時間帯ですかね。・・・あれ？時間なくね？

あと、鉄腕ゴーレムは原作でもレベル5です、原作だから何でもアリで・・・。

主人公設定　↳バトルシティ編（前書き）

えー、まず、バトルシティに入る前に（もう入ってますが）主人公、天月遊夜の設定を書いておこうと思います。

主人公設定 ～バトルシティ編～

あまつぎ
天月 遊夜

【年齢】

16歳（転生前） 十代達と同年代（転生後）

【容姿】

転生前

黒髪黒目、中立的な顔立ち

転生後

金髪青目

髪型は神々の正三角を探す勇者

<http://3811.mitemin.net/i33846/>

【性格】

クールに振舞おうとはしているが、なることができなく、すぐ熱くなる熱血漢

仲間を侮辱されたり、デュエルのことになると手がつかなくなる。

しかし、本気でキレると…

【好きなもの】

・デュエル

・ゲーム

・友達

・運動

【嫌いなもの】

- ・仲間を侮辱する者
- ・デッキを批判するもの
- ・辛いもの全般

【運動神経】

普通は十代と同じ感じ

魔力を纏^{ヘカ}うとオリンピック選手顔負けの運動神経

精霊と同化（十代みたいに）するとレベルに応じてさらに運動能力が上がる

【能力】

ドロー力 【A+】 デッキ構築能力 【B-】

頭脳 【B+】 状況判断力【A】

運 【A-】 デュエルタクティクス【A-】

使用するデッキ

【マジシャンズ・ロック】：魔法族の里や王宮のお触れなどでロツクしながらディメンション・マジックなどで上級モンスターを召喚するデッキ。主にブラック・マジシャン（シーク）を主体にしたデッキ

【?????】

魔力カウンターを主軸に組んだデッキ

備考

遊夜の生前に使っていた魔法使い族をデッキを改良したデッキ、こっちは制限リストなどが緩いので、生前に比べると性能はまあまあ上がったただ、元のデッキが弱いので、本当にまあまあである。

【特殊スキル】

精霊魔導士

魔力^{ヘカ}を使い、戦闘をする魔導士、ブラック・マジシャン（シーク）に師事してもらい、なったもの、魂^バに宿りし精霊と同化できるが、遊夜は分離もできる。でもあまり意味はない

備考

生前はただの高校生だったが、神の手違いにより、遊戯王の世界に転生する。

デッキ作りはあまり得意じゃなく、（作者の力量がダメなわけです）回りそうにないが、精霊が近くについて、デッキを信じているので回っている感じ。また、記憶の世界と遊戯王GX3期に備え、シークに精霊魔導士にしてくれと師事をしてもらったので、なんとかなれた。結構喧嘩に強い

【精霊】

シーク

ブラック・マジシャンの精霊、遊夜のパートナー

【性格】

優しいお兄さんの

【容姿】

涼宮ハ○ヒの憂鬱の古泉のニコニコ顔
遊戯のマハードが紫髪、シークは金髪青眼

主人公設定 くバトルシティ編く（後書き）

…挿絵もしたいんですが、どうすればいいでしょう、誰かやり方を教えてください。

来いよ虫野郎！（前書き）

はい、H A G Aです。ずっと俺のターンです。でも、意味はありません。芳賀に精神的ダメージを大幅に与えるための大量展開みたいな感じですか。何か羽賀ってこういうのに弱そうですからね（笑）

来いよ虫野郎！

今俺は海馬コーポレーションを離れ、対戦相手を探しに歩いているが、

「…はあ…やっぱり、俺見るたびにみんな逃げてくよな、シーク。

」

そう、あの海馬を倒した俺を見るたびに、対戦相手が逃げていくのだ。

『仕方がないですよ、それだけのことをしてしまったのですから。』

誤解を招く言い方はやめてくれ、俺は普通に決闘しただけだ。

『それが、今の原因ですよね…。』

これじゃ、バトルシティ勝ち残れそうにないぞ…

『あきらめないでくださいよ、遊夜。』

当たり前だぜ、しかしやばいぞ…、…どっかそこらへんのやつ捕まえて無理やり決闘するか…？

「ひょく、っひよ、っひよ、っひよ。」

…この間に触るつぎったらしい声は…

「お前があ海馬瀬戸を倒した天月遊夜か、おい、俺と決闘しろ！」

…やっぱり羽賀が、いいだろう、返り討ちにしてやるぜ！

「いいぜ。」

「「決闘デュエル！！」」

遊夜LP4000

羽賀LP4000

「俺の先攻！ドロー！」

あれ、やっぱり早いもん勝ちなのか？先攻って

羽賀 手札6

「俺はヘラクレスビートル（攻1500）を召喚！そして、カードを伏せ、ターンエンドだ！」

あの顔からして、伏せは攻撃反応型…竜崎を倒したあのカードっばいな。

羽賀 手札4

場

・ヘラクレスビートル

・罨

（次のターン、お前は終わりさ！このセットカードはメサイアの蟻地獄、そして手札には代打バッター、インセクト女王クイーン、殺虫剤がある、もちろん仕組んだものだけ、これで俺の勝ちだひょく、ひよっ

ひよー！！）

…なんかイカサマしてそうだな羽賀のやつ…ありえそうだ。だが、残念だがお前に次のターンは、回ってこない。原作で読んだとおり、召喚反応型、カウンターカードなどは入っていないことは分かっているからな！

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札 6

「俺はマジカル・コンダクター（攻1700）を召喚！そして魔法カード、強欲な壺を発動、2枚ドロー魔法族の結界を発動、効果でマジカル・コンダクターにカウンターが2つ乗る、そして、光の護符剣、カウンターが2つ乗る、そして、ハリケーン、全ての魔法、罨を手札に戻す、カウンターが乗る！」

「お、俺の罨が…。」

遊夜 手札 6 4 5
場

・マジカル・コンダクター（攻1700） 魔力カウンター 8

そして、魔力カウンター6つを取り除き、手札から取り除いたカウンターと同じレベルのモンスターを手札から特殊召喚できる。来い、ブラック・マジシャン・ガール（攻2000）！」

「はっ、ははは！何が出るかと思ったら、レベル6のくせに攻撃力2000の雑魚モンスターか。」

…雑魚だと？

「おい、今なんて言った？」

「は？聞こえなかったのか？雑魚といったんだ。」

…こいつ、人のカードを海に捨てるわ、人のデッキに勝手にカードを入れるわ、今度は人のカードを雑魚よわばりだと？絶対に許さねえぞ。

「…俺は、魔法カード発動、賢者の宝石、こいつはブラック・マジシャン・ガールがいる時、デッキ、手札からブラック・マジシャンを特殊召喚できる、来い、ブラック・マジシャン シーク（攻2500）。」

「な、なんだと…そんなカードがあるなんて聞いてないぞ…。」

お前はヘラクレスビートル（攻1500）1枚、こっちは1700、2000、2500、これでもう勝てるが、人のカードを侮辱した罪は重い、まだまだいくぜ。

「マジカル・コンダクターにカウンターが乗る、そしてさっきの魔法カード2枚、光の護符剣、魔法族の結界を発動、カウンターが4乗る」

マジカル・コンダクター 8

「そして、命削りの宝札を発動、カードを5枚ドロウ、マジカル・コンダクターに（ry）」

マジカル・コンダクター 10

遊夜 手札 5

場

・マジカル・コンダクター（攻1700） カウンター10

・ブラック・マジシャン・ガール（攻2000）

・ブラック・マジシャン（攻2500）

・光の護符剣

・魔法族の結界

…うん、相手もう震えてるぞ、だが、手加減はしない！

「手札から魔法カード魔法族の里を発動、効果でカウンター（ry

マジカル・コンダクター 12

「そして、場の2体のレベル6以上の魔法使い族を生贄にし、来い、黒の魔法神官（攻3200）！」

「あ、ああ…。」

「手札から魔法再生を発動！効果で魔法カードを1枚手札に加える！」

これ、絶対禁止カードになるよね、だってノーコストで強力な魔法カードに変わるんだぜ？

「俺はハリケーンを手札に戻す。そして発動。」

遊夜 手札 5 3 5

場

- ・マジカル・コンダクター（攻1700） 16
- ・黒の魔法神官（攻3200）

この手札の内、3枚は一定のカードだ、ならば、

「賢者の石サバティエルを発動、LPを半分払い、このカードをデッキに戻したあと、効果でデッキか墓地からカード1枚を手札に加える。打ちでの小槌を手札に加え、発動！このカードと魔法カード3枚をデッキに戻し、4枚ドロ！効果で（ry」

マジカル・コンダクター 18

遊夜LP4000 2000

手札6

…フツ、いいカードが舞い込んだ。

「死者蘇生を発動！蘇れ、ブラック・マジシャン（攻2500）！そして速攻魔法カード、光と闇の洗礼を発動、ブラック・マジシャンを生贄に、デッキから、混沌の黒魔術士（攻2800）を特殊召喚！効果で墓地から魔法カードを一枚手札に戻す。俺は魔法再生を手札に加える。そして発動、死者蘇生を選択する。そして発動、効果でブラック・マジシャン（攻2500）をもう一度特殊召喚！！」

『遊夜、あなたは私を何度場に呼ぶのですか？』

…えつと…3回目だな。

『前世では一回でも召喚されれば多かった方でしたよ…。』

マジカルコンダクター 26

遊夜LP2000 手札3
場

- ・マジカルコンダクター（攻1700） カウンター26
- ・ブラック・マジシャン シーク（攻2500）
- ・混沌の黒魔術士（攻2800）
- ・黒の魔法神官（攻3200）

「そして、死ねばもろとも！発動！お互いの手札が3枚以上の場合、手札を全て捨て、カードを5枚ドロ！。しかし、発動者は自ら捨てたカード数×100ダメージを受ける。俺は死ねばもろともを合わせ、3枚、よつて、300ダメージ！」

遊夜LP2000 1700

手札5

マジカルコンダクター 28

「そして、今引いた賢者の石サバティエルを発動、効果でデッキから打ちでの小槌を手札に加える。そして発動、手札をすべて戻し、5枚ドロ！」

遊夜LP1700 850

マジカルコンダクター 32

うん、俺ほんと何したいんだろ、エグゾディアを揃えるわけもなく、ただ、手札交換とかの魔法カード多様で魔力カウンター貯めてるだけじゃないか……。まあ、相手には何かしているみたいに感じ、絶望しているような表情をしているがな。

「…俺は、魔法カード発動、騎士の称号、ブラック・マジシャンを生贄に、デッキか手札からブラック・マジシャンズ・ナイト（攻2500）を特殊召喚、特殊召喚に成功したとき、相手モンスター1体を破壊する。」

「俺のヘラクレスビートルが！」

…ぶつちやけ、壁にもならないぞ。今の状況は。

「そして、魔法カード発動、早すぎた埋葬。こいつは800ポイント払い、墓地からモンスター1体を特殊召喚。俺はブラック・マジシャン（攻2500）を蘇生。」

『あなたは本当に…いくら私を呼び出せば…。』

…シーク、なんかほんとにゴメン。

遊夜LP850 50 手札5 3

場

- ・マジカルコンダクター（攻1700）
- ・ブラック・マジシャン（攻2500）
- ・ブラック・マジシャンズ・ナイト（攻2500）
- ・混沌の黒魔術士（攻2800）
- ・黒の魔法神官（攻3200）

…やりすぎたか…？だが、人のカードを侮辱する決闘者の風上にもおけない奴にはこの程度でもまだまだだが…これ以上やれないしな、10000越えのオーバークイルで許してやるよ。

「全員で虫野郎にダイレクトアタック！！
混沌五重魔法呪文
！」

「うわああああああああああああああああ！！！！！！」

羽賀LP4000 2300 1200 12700 15500
18700

「そしてデイメンション・マジック！ブラック・マジシャンズ・ナイトを生贄に、現れる！魔導騎士ディフェンダー（攻1600）そして追撃！！」

羽賀LP18700 110300

遊夜LP50

「そんなあゝ、この俺がワンターンキル、及びオーバーキルされるなんて〜。」

「あ、そうそう、俺、TV見てた頃から（見ていません）言ってみたかったけど、…お前、絶対弱いだろ。」

「ガーン！！（。°。———）」

「さてと、アンティルルだ、パズルカードとレアカードを渡してもらおう。」

「く、くっそー！！この俺がレアカードを2枚も奪われるなんて〜！！」

…究極完成体グレートモス…いるかこんなもの！！…別に、魔法使い族じゃなけりゃデッキに入れないがな。これでパズルカードは3枚、なまじ会場を知っているから行きたいが、6枚持ってないからさつさと集めるか。…イシズさん梓とつてもいいよな？さて、次の標的えものを探しに生きますか。

『遊夜、次はどこらへんを歩きますか？』

大通りに行こう、あそこなら人が集まるしな。

『そうですか、では行きましょうか。』

あと3枚、楽しそうに楽しめない道のりっぽいな…。

来いよ虫野郎！（後書き）

なんか、チートドロとドロ強化カードがすごいことに……。こんなはずじゃあ……。GXだったらあそこに一族の結束を使って更にと
思ったのですが、5枚しか置けないフィールドでは……。

竜崎…強くな？（前書き）

あれ？なんかカードの時系列とか攻撃力とかがもう簡単に青眼の白龍を超えた・・・

竜崎…強くな？

さつき虫野郎を倒し、決闘者デュエリストを求め、大通りの方にやって来た、確かここには竜崎と紹場がいたよな…っと、いたいた、竜崎。

『次の相手はあの帽子をかぶった少年ですか？』

「ああ、一応年上だけだな。」

そう言い、竜崎に話しかける。

「おい、決闘デュエルしろよ。」

…遊星だね。あのセリフは名台詞だ。

「ああ？なんやワレ？ってお前は海馬瀬戸を倒した決闘者デュエリストやないか
「！」

一応、俺のことは知ってるだな。

「ああ、日本大会2位の实力を持つあんたと戦いたくてね。」

実際、楽に倒せるから。

「へえ、あんたにそんな評価をもらっとるなんて光栄やわ。いいで、やったるうやないか！」

「ああ、だが、手加減はしない！」

さて、こいつは人のカードを侮辱したりする卑怯な真似はしないと
思うが、したらな・・・。

「^{デュエル}決闘！！」

遊夜 LP 4000

竜崎 LP 4000

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札 6

まずは様子見をしてみるか。

「俺は魔導騎士ディフェンダー（守2000）を守備表示で召喚し、
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ。」

遊夜 手札 4

場

- ・魔導騎士ディフェンダー（守2000） カウンター1
- ・魔法

「ワイのターンや！」

竜崎 手札 6

「ワイはこのモンスター、この俊足のギラサウルス（攻1400）
を特殊召喚や！このモンスターは特殊召喚したとき、相手の墓地の
モンスター1体を相手の場に特殊召喚できるが、お前の墓地には一
体もモンスターはおらへん、よって、効果は無効になる！そしてワ

イはギラサウルスを生贄にして、暗黒トリケラトプス（攻2400）を召喚や！」

攻撃力2400、貫通効果を持つモンスターか、少しやばいか・・・？

「そして攻撃や！ 怪鳥けちよう ！！！」

「だが、ディフェンダーに乗せられたカウンターを取り除き、破壊を無効にする！！！」

「だが、貫通ダメージは受けてもらうで！！！」

遊夜LP4000 3600

「そしてワイはカードを2枚伏せ、ターンエンドや！！！」

竜崎 手札2

場

・暗黒トリケラトプス（攻2400）ダーク

・魔法

・畏

「俺のターンだ！！！」

遊夜 手札5

場

・魔導騎士ディフェンダー（守2000）

・魔法

…あの竜崎がコンボか…、フフフ、楽しくなってきたぜ。

「俺は賢者の石サバティエルを発動、効果でLPを半分払い、このカードをデッキに戻し、墓地、デッキからカードを1枚選択し、手札に加える。俺は魔法カード、ディメンション・マジックを選択する。」

遊夜LP3600 1800

「そして俺は久遠くおんの魔術師ミラ（攻1800）を召喚、効果発動、相手のセットされたカードを確認出来る、これに対して魔法、罫は発動できない。」

右のセットカードは突進か。なかなか面倒なカードだな。

「俺はディメンション・マジックを発動。久遠の魔術師ミラを生贄に、来い！ブラック・マジシャン（攻2500）！！」

シーク…何故殆どデュエルの決闘で初期手札に来るのだろう？

「こ、攻撃力2500やと…!!?」

「そしてディメンション・マジックの効果でフィールドのモンスター一体を破壊、俺は暗黒トリケラトプスを選択。」

「そしてディフェンダーを攻撃表示（攻1600）にして2体で攻撃！デュアルマジック二乗合成魔法！！」

「へっ！ワイはリバーズカード発動！化石発掘や！こいつは手札を一枚捨て、墓地からモンスター1体特殊召喚できるんや！ワイは墓

地の暗黒恐獣（ブラックティラノ）（攻2600）を特殊召喚や！」

「もう一つのカードは蘇生カードだったか！くっ、攻撃を中断、魔法カード発動！マジック・サンクチュアリを発動！お互いに魔法カードを選択、手札に加える！カードを伏せ、ターンエンドだ！」

遊夜 手札2

場

- ・ブラック・マジシャン（攻2500）
- ・魔導騎士デイフェンダー（攻1600）
- ・マジック・サンクチュアリ
- ・魔法
- ・魔法

「ふふふ、ワイのターンやで！」

竜崎4

場

- ・暗黒恐獣（ダークティラノ）（攻2600）
- ・魔法カード（突進）
- ・化石発掘

「ワイはこのままブラック・マジシャンに攻撃や！」

「俺は禁じられし聖杯を発動！モンスター1体の効果を無効化し、攻撃力400上げる。」

ブラック・マジシャン（攻2500 2900）

「なら突進を発動や！！攻撃力700アップ！！」

暗黒恐獣（攻2600 3300）

「ハハハワイの勝ちや!」

「そいつはどうかな?」

「何やと!?!」

「俺はもう一つのセットカード、永続魔法カード、…一族の結束を
発動!墓地の種族が1つのみの場合、自分の場のモンスター全ての
攻撃力800アップ!」

ブラック・マジシャン（攻2900 3700）

魔導騎士ディフェンダー（攻1600 2400）

「し、しまった、これなら魔導騎士ディフェンダーに攻撃しとけば
よかったで〜!」

竜崎LP4000 3600

「くっ、ワイはモンスターを守備表示、そしてカードを1枚伏せ、
ターンエンドや!」

竜崎 手札2

場

・ハイパーハンマーヘッド（守1200）

・罨

「俺のターン!」

遊夜 手札3

場

- ・ブラック・マジシャン（攻3300）
- ・魔導騎士ディフェンダー（攻2400）
- ・一族の結束
- ・マジック・サンクチュアリ

…バウンズカードか、厄介だな…。

「俺はディフェンダーで攻撃！」

「ハンマーヘッドの効果でディフェンダーをバウンズや!!」

「ならブラック・マジシャンでダイレクトアタック！
黒・魔・導^{ブラックマジック}!!!」

「ちよいまちや!!ヒーロー見参発動や!わいの手札は2枚、どっちを選ぶ?」俺は、右を選ぶ。「これはモンスター、よつてこのカード究極恐竜^{アルティメット・ティラノ}（攻3000）を特殊召喚や!!」

「ふつ、攻撃力3000だが、楽に倒せるぜ!!」

「くろう…!!」

竜崎LP3600 3300

「俺はもう一度魔導騎士ディフェンダー（守2000）を召喚しターンエンド。」

3000か、今の状況は辛いぞ・・・!

「そしてブラック・マジシャンに攻撃や!!」

「ディフェンダーの効果で破壊を無効!!」

遊夜LP1800 1300

「だが、究極恐竜は場のモンスター全てに攻撃できる!魔導騎士ディフェンダーを破壊や!そしてわいはカードを2枚伏せ、ターンエンドや。」

竜崎 手札2

アルティメット・ティラノ

・究極恐竜

・魔法

・畏

くつ、何が楽に倒せるだ!完全に舐めていた。原作では負けっぱなしだったが、実際は日本大会2位まで行ったんだ。これから、気を引き締めるよ俺!!

「俺のターン!」

遊夜 手札7

場

・ブラック・マジシャン(攻2500)

このカードは!!

「俺はこのカード、魔術の呪文書を発動、この効果でブラック・マジシャンの攻撃力を1000アップ！3500だ！」

「それにチェーンして、サイクロン！それを破壊や！！」

マジで何があった竜崎、別人じゃね！？

「だが破壊されたことでLP1000回復。」

遊夜 LP 1300 2300

「ちいつ、LP回復か！！」

「俺はガガマジシャン（攻1500）を召喚！そして効果発動！俺が宣言するレベルは7！」

「レベルを宣言して…？まさか！！」

「そう、そのまさかさ！ガガマジシャンとブラック・マジシャンを生贄に、黒の魔法神官（攻3200）を特殊召喚する！」

「攻撃力3200…！さすがやで…！！（だがセットカードは収縮、これで…！！）」

「俺はフィールド魔法発動！魔法族の里を発動！！」

遊夜 手札3

場

・黒の魔法神官（攻3200）

・魔導騎士ディフェンダー（守2000）

・魔法族の里

「それにチェインして収縮！！黒の魔法神官の攻撃力を半減させるで！！！」

黒の魔法神官攻3200 1600

「つつ！カードを2枚伏せ、ターンエンド。」

遊夜 手札1

「ワイのターン！！！」

竜崎 手札3

場

アルティメット・ティラノ

・究極恐竜（攻3000）

・畏

「ワイはもう一体のギラサウルスを特殊召喚（攻1400）！！さあ、墓地からモンスターを召喚しいや！！！」

「俺はブラック・マジシャンを（守2100）で召喚！」

「そしてワイは2体を生け贄に、こい！スーパーコンダクターティラノ超伝導恐竜（攻3300）

！！！」

「げっ！3300…！！！」

「そして攻撃や！！！」

「ぐっ……！俺は畏カード発動！時の機械、タイムマシーン！
これは特殊召喚扱いではないから黒の魔法神官にも適応！！」

「ちっ、結局畏はつかえへんか！！」

遊夜LP 2300 2200

「ワイはターンエンドや！！」

竜崎 手札1

場

スーパードクターティラノ

・超伝導恐竜（攻3300）

・畏

「俺の…ターン！！」

遊夜 手札2

・黒の魔法神官（攻3200）

・ブラック・マジシャン（守2100）

・魔法

・魔法族の里

「俺は、魔法カード発動！賢者の石サバティエル！LPを半分払い
デッキに戻し、魔法カード、一族の結束を手札に戻す！！」

遊夜LP 2200 1100

「そして発動！！」

黒の魔法神官（攻3200 4000）

ブラック・マジシャン(攻2500 3300)

「…ワイの負けか、クソっ！悔しいなあ！！」

「ああ、だが、お前はすごかったぜ！」

「そう言ってもらえば悔しいが少し嬉しいわ！」

「また、決闘デュエルしよう！！」

「ああ、またいつかな！！」

竜崎LP3300 2600 1700

「楽しかったぜ！竜崎！！」

「ああ、負けはしたが、いい決闘デュエルやった！」

「今度はアンティなしで決闘しよう！」

「ああ、ワイのカード、超伝導恐竜をやるわ。」

「いや、いらない、それはお前が持つてるからこそ輝く。」

「そうなんか？でもアンティール…！」

「俺がいいって言うてんだからいいんだよ。パズルカードだけで。」

「そ、そうか、ありがとうな！」

「ああ、またな!!」

真紅眼奪われたあいつ、結構かわいそうだったからな。自業自得だが。

『結構いいデュエルでしたね。』

「ああ、あいつ、王国からあそこまで成長してるなんてな…だけど、なんで竜崎、紹場に負けたんだ?」

『わかりませんが、紹場という決闘者デュエリストはあそこにいますよ。』

「そうか、じゃあ、あいつに決闘挑もうか。デュエル」

『分かっていますよ。遊夜。』

竜崎…強くな？（後書き）

竜崎いいキャラにしすぎたかな…？個人的に好きなんですよ竜崎。
攻3300…ヤヴァイ。^{ブルーアイズ}青眼超えた

執念深いゲールズボスマリク（前書き）

サーセン、紹場、デッキ資料が少なすぎてかけませんでした…。（苦笑）

そして出来が悪い感じが…あ、あとOCGと原作ごっちゃですぶっちゃけ言つとアニメ版天よりの宝札とOCG版天よりの宝札が同盟カードとして認められてるくらい

執念深いゲールズボスマリク

さっき竜崎りゅうさきを倒して、パズルカードが4枚になった。

「なんか原作より決闘者のレベルが高いような…?」

『ああ、神が言っていましたよ。決闘者少し強くするって。』

「そうか、そのせいで、さっき竜崎が強かったんだな。で、羽賀は」
「?」

『ワンターンキルしたあなたが言うことじゃないでしょう…。(苦笑)』

「そっぴゃワンキルしたな…予想以上に弱かった」

「おーい、お前、決闘しないかー?」

「そう言い紹場に話しかける」

「えっ…天月遊夜!?!」

「わあー本物だー」

「すごいすごい!」

「なんか弟たちが集まってきたよ。」

「ああ、弟たちがすまない、それで…決闘は、パズルカードがもう」

ないから、出来ないんだ、すまないね。」

「そうか、城之内に強いつて聞いて来たけど、無駄足だったか、じやあさ、バトルシティが終わったら決闘しようぜ!」

「ああ、それならいいよ。」

「そうか、俺はパズルカードを集めに行くから、またな!」

「ああ!」

そう言い終え、また決闘者を探しに出かけたが、すぐ、

「我らグールズと共に来てもらおう…。」

絶対マリクだ十中八九マリクだ

「ああ、いいぜ、どこへ行くんだ?」

いいぜ、誘いに乗ってやるよ。

「こっちだ。」

そう言い、ついていくと、とあるゲーム屋についた

「おいおい・・・パンドラ戦か?」

そう、俺や遊戯以外の只一人のブラマジ使い…でも確かコピーだったよな。

「パンドラを知っているのかい？」

「遊戯に聞いた。」

そついでにしておいじ。

「へえ…。」

何か見透かされてそうだ…。

「待っていましたよ。」

「お前と決闘すればいいのか」

「勝てたら見逃してあげるけど、負けたら…。」

「負けねえよ、少なくとも今のお前にはな。」

闇マリクにはどうかかわからない。てかあいつはマジでやばいからな。

「減らず口を…パンドラ！やってしまえ！」

「分かっていますよ。」

「やるしかねえか。」

正直、決闘でここまで乗り気じゃないのは初めてかもしれないな。

「^{デュエル}決闘！…」

遊夜LP4000

パンドラLP4000

「俺の先攻。ドロー！」

遊夜 手札6

「俺は熟練の黒魔導士（攻1900）を召喚。そして魔法カード、マジック・サンクチュアリを発動。そして2枚伏せターンエンド。」

遊夜 手札4

場

・熟練の黒魔導士（攻1900）

・マジック・サンクチュアリ

・魔法

・畏

「私のターン！」

パンドラ 手札7

「創世の預言者（攻1800）を召喚します！そして洗脳ブレインコントロール！LP800払い、相手モンスターのコントロールを得ます！！！」

パンドラLP4000 3200

ぶっちゃけ言うとか心変わりでよくな？って、そうか、こっちでは使えたな、ドロー系とかしか入れてなかったぜ。

「そして二重召喚発動！2体を生け贄に、来なさい！ブラック・マジシャン（攻2500）！！」

来たな、パンドラ・マジシャン。あ、ちなみに、「遊戯のブラマジ」紫」「俺のシーク」漆黑」「パンドラのブラマジ」赤紫」なんだけ。

「そして、ブラック・マジシャンでダイレクトアタック！
黒魔導
！！！」

「リバーズカードオープン！マジシャンズ・サークル！！これでお互いのデッキから攻撃力2000以下の魔法使いを1体ずつ特殊召喚する！」

「私は魔法の操り人形（攻2000）を召喚します。」

「俺はブラックマジシヤンガール（攻2000）を特殊召喚！」

「だが結局は変わりませんよ！むしろ悪くなったみたいですねえ！」

「ふっ、リバーズカードオープン！一族の結束！」

遊戯大好き結束の力！2積みしてるからすぐ来てくれて嬉しいぜ！

「この効果でブラックマジシヤンガールの攻撃力は」

「2800ですと！？だが、魔法の操り人形に魔力カウンターが乗ります！よって攻撃力2200！！そしてメインフェイズ2！永続魔法カードエクトプラズマー発動！私は魔法の操り人形を選択、ですがその前に、魔法カード2枚によってたまったカウンター2つを

取り除き、ブラックマジシャンガールは破壊させていただきます！」

「ぐっ！」

遊夜LP4000 2900

「ハハハハ！ターンエンドです！」

パンドラ 手札2

場

・ブラック・マジシャン(攻2500)

・エクトプラズマー

ぶつちやけ言つと、飛ばしすぎじゃね？俺まだ手札4枚あるし、一族の結束もあるぞ？

「俺のターンだ！」

遊夜 手札5

場

・マジック・サンクチュアリ

・一族の結束

「俺は死者蘇生を発動し、ブラックマジシャンガール(攻2000 2800)を特殊召喚！そしてこいつ、魔導戦士ブレイカー(攻1600 1900 2700)そしてブレイカーが召喚したとき付いたカウンターを取り除き、場の魔法、罫を1枚破壊する。マナ・ブレイク！」

魔導戦士ブレイカー(攻2700 2400)

「そしてブラックマジシャンガールでブラック・マジシャンを攻撃
ブラック・バーニング
！ 黒魔導爆裂波 ！！！」

「ぬっっっっ！！」

「そして魔導戦士ブレイカーでダイレクトアタック！！！」

「ぐはあ・・・！」

LP 3200 2900 500

「俺は1枚カードを伏せ、ターンエンド。」

遊夜 手札2

場

・ブラックマジシャンガール（攻3100）

・魔導戦士ブレイカー（攻2400）

・一族の結束

・畏

しまったな。エクトプラズマー破壊しなければ勝っていたのに

「くっ・・・私のターン！」

パンドラ 手札3

場

・無し

「私は強欲な壺を発動！！カードを2枚ドロー！そして装備魔法力

ード発動！強奪！効果でブラックマジシャンガールを私の場に！」

…奪われても、攻撃力2300だけど

「そして魔法カード発動！黒魔術のカーテン！LPを半分払い、デッキからブラック・マジシャン（攻2500）を特殊召喚です！」

LP500 250

「師弟の絆を見せてあげなさい2体で攻撃！ブラック・バーニング・マジック …！」

「その弟子を盗んだお前がその技を口にすんじゃないねー！！リバースカードオープン！マジシャンズ・セレクト！こいつは場に魔法使いがいる場合、攻撃を無効にし、攻撃力が一番低い相手モンスターを破壊する！」

すまない、ブラックマジシャンガール…。

「くっ！カードを1枚伏せ、ターン…。エンドです…。」

パンドラ 手札1

・ブラック・マジシャン（攻2500）

・畏

「俺のターンだ！ドロー！」

遊夜 手札3
場

- ・魔導戦士ブレイカー（攻2400）
- ・マジック・サンクチュアリ
- ・一族の結束

「俺は賢者の石サバティエルを発動。命削りの宝札を選択。そして埋葬されし生贄発動。相手と自分の墓地のモンスターを1体ずつ除外し、手札からブラック・マジシャン（攻2500 3300）を特殊召喚する！命削りの宝札を使い、カードを5枚ドロ！」

遊夜 手札5 LP2900 1450

場

- ・ブラック・マジシャン（攻3300）
- ・魔導戦士ブレイカー（攻2400）
- ・マジック・サンクチュアリ
- ・一族の結束

「あ、ああ…！」

「そしてディメンション・マジック、魔導戦士ブレイカーを生贄にガガガマジシャン（攻1500 2300）を特殊召喚！効果であるたのブラックマジシャンを破壊！そしてガガガール（攻1000 1800）を召喚！」

「な、なんだそのブラック・マジシャンとブラックマジシヤンガールによく似たモンスターは…！！！」

「ガガガという、新しい魔術師^{マジシャン}だ。2体を生け贄に黒の魔法神官（攻3200 4000）を特殊召喚！天よりの宝札を使い、6枚ドロ！。早すぎた埋葬を使い、ブラックマジシヤンガール（攻2000 2300 2600 3400）を特殊召喚。」

遊夜 手札5 0 6 5 LP1450 650
場

- ・ブラック・マジシャン（攻3300）
- ・ブラックマジシャンガール（攻3400）
- ・黒の魔法神官（攻4000）
- ・マジック・サンクチュアリ
- ・一族の結束

「3体の攻撃！ 超ちやうまていほう魔導波動弾 ！！！」

「ぐはああああああああああああ！！！！！」

パンドラLP250 13050 16450 110450

「俺の勝ちだぜ？マリク・イシユタール。」

「くっ、パズルカードとレアカードだ。次こそは君を負かしてみせるよ。」

しっこい！しっこすぎるぞマリク！

『執念というか何と言うか…（苦笑）』

「まあ、これでパズルカードはあと1枚次で終わるな。」

『はい、出来そうにないと言っておきながら着々と進んでいますね。』

「ああ、さ、次行こうぜ！」

執念深いゲールズボスマリク（後書き）

はい、マジシャンズ・セレクトはアニメで遊戯がバトルシティで使いましたね。

それと、オリ技名付けようかと悩んでいる作者です。技名付けていいでしょうか？

アトランティスって、クジラとか亀の儀式と相性悪いよな（前書き）

感想で言われて、アニメを見たんですが：10枚、置けましたね、
バクラ戦でウイジャ磐のスペース開けるためにあのフィールド魔法
使っていましたし。そして、梶木の喋り方、わからない・・・

アトランティスって、クジラとか亀の儀式と相性悪いよな

「さて、と、パズルカードもあと一枚か。」

『そうですね。というか、何故水族館へ？』

「そりゃあ、梶木と決闘デュエルしたいからだ。」

『梶木…というのはあの、魚族デッキを使う少年ですか？』

「ああ、そいつだ。結構好きな奴なんだ。」

『そうですか。ああ、つきましたよ。』

「ああ、…城之内が居るな。そうか、シャチのショーが始まる前か。」

「パンサーウォリアーで攻撃！ 黒・豹・疾・風・斬！！」

…決まったな。やはり最後は伝説のフィッシャーマンだったか。

「さて、そろそろ行くか。シーク」

『はい。』

「おい、城之内。」

「おお、遊夜、お前もここに来たのか。」

「ああ、決闘者サーチ、だっけか？デュエルそれを使ってここに来たんだ。」
嘘だ。原作を知っているから来たんだ。

「おお、俺もそれでここに来たんだ。」

「おい、城之内。お前こいつを知っとるんか？」

「ああ、梶木、俺の友達だ。」

「へえ〜、こんな友達おつたんやなあ〜。」

「ああ、俺の名はあまつきやうや天月遊夜、あんたは？」

「オレはかじきりよした梶木漁太じゃい。お前も決闘デュエルディスクをもっとるってことは決闘者なんか？」

「ああ、パズルカードも5枚集まっただぜ！」

「へー、俺はもう6枚集まってるぜ！」

お前と、気絶させられた&拉致られて時間なかったのに短期間で4枚集めた俺を比べるな！

「そうか。梶木だよな。俺とも決闘しないか？」

「おう、売られた決闘は買うのが礼儀じゃい！」

「そうか！なら、行くぜ！」

さっきのパンドラとの決闘よりも、やっぱり、楽しい決闘のほうがいいな。

「「^{デュエル}決闘!!!」」

梶木 LP 4000

遊夜 LP 4000

「オレのターンからじゃい！」

梶木 手札 6

「オレはこいつを守備で召喚じゃい！」

^{クラゲ}海月 ジェリーフィッシュ

通常モンスター

星4 / 水属性 / 水族 / 攻1200 / 守1500

海を漂うクラゲ。半透明の身体で姿を確認しにくい

「海月か。確か電気に強いんだよな。」

「オレはカードを1枚伏せ、ターンエンドじゃ！」

梶木 手札 4

場

・^{クラゲ}海月 ジェリーフィッシュ (守1500)

・セットカード

「俺のターンだ。ドロー！」

遊夜 手札6

「俺は魔導騎士ディフェンダー（攻1600）を召喚だ。効果で魔力カウンターを乗せる。」

魔導騎士ディフェンダー

効果モンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1600 / 守2000

このカードが召喚に成功した時、

このカードに魔力カウンターを1つ置く（最大1つまで）。

フィールド上に表側表示で存在する魔法使い族モンスターが破壊される場合、

代わりに自分フィールド上に存在する魔力カウンターを、

破壊される魔法使い族モンスター1体につき1つ取り除く事ができる。

この効果は1ターンに1度しか使用できない。

「ディフェンダーで攻撃！」

「ならオレは畏発動！ フィッシャー・チャージ！ 効果で自分フィールド上に存在する魚族モンスター1体を生贄にフィールド上のカード1枚を破壊し、自分のデッキからカードを1枚ドローするんじゃないじゃ！ オレは海月クラゲを選択！」

「ディフェンダーの効果発動！ 召喚したときに乗ったカウンターを除去し、破壊を無効にする！ お前の場にはモンスターはいない。よって、ダイレクトアタックになる！」

「くっ！ カードを1枚ドロー。」

梶木 LP4000 2400

「俺はカードを伏せ、ターンエンド。」

∴手札にディメンション・マジックがあったら、1KILLできたのにな。

遊夜 手札4

場

- ・魔導騎士ディフェンダー（攻1600）
- ・セットカード

「オレのターン！ドローじゃい！」

梶木 手札6

「オレは永続魔法 ウォーターハザード を発動じゃ！これは1ターンに1度、場にモンスターがいないとき、手札からレベル4以下の水属性モンスター1体を特殊召喚できるんじゃ！こい、深海王デビルシャーク（攻1700）！そしてヒゲアンコウ（攻1500）を召喚じゃい！」

深海王デビルシャーク

効果モンスター

星4 / 水属性 / 魚族 / 攻1700 / 守 600

このカードは1ターンに1度だけ、対象を指定しないカードの効果では破壊されない

ヒゲアンコウ

効果モンスター

星4 / 水属性 / 魚族 / 攻1500 / 守1600

水属性モンスターを生け贄召喚する場合、このモンスター1体で2体分の生け贄とする事ができる。

「やばいな…（セットカードは 聖なるバリアミラーフォース、
デビルシャークは破壊できないか…。）」

「オレはデビルシャークでディフェンダーを攻撃じゃ！そしてヒゲ
アンコウでダイレクトアタックじゃ！」

…まだ、発動しないほうがいいか。

遊夜LP4000 3900 2400

「遊夜と梶木のライフポイントが並んだ！どうなるんだ！？」

城之内、ライフが並び、場は向こうの方がいいが、俺にはこの状況を打破出来る手札が揃っている。

「オレはカードを1枚伏せ、ターンエンドじゃ。」

梶木LP2400 手札2

場

・深海王^{しんかいおう}デビルシャーク（攻1700）

・ヒゲアンコウ（攻1500）

・ウォーターハザード

・セットカード

「…はははっ。楽しくなってきたぜ！俺のターン！！」

遊夜LP2400 手札5

場

・セットカード（聖なるバリアミラーフォース）

「俺は 死者蘇生 で俺の墓地のディフェンダーを場に特殊召喚し、それを生贄に、こいつを召喚だ！！」

ブリザード・プリンセス

効果モンスター

星8 / 水属性 / 魔法使い族 / 攻2800 / 守2100

このカードは魔法使い族モンスター1体をリリースして表側攻撃表示でアドバンス召喚する事ができる。

このカードが召喚に成功したターン、相手は魔法・罠カードを発動する事ができない。

「れ、レベル8を一体で召喚じゃと…！？」

「それだけじゃないぜ、このカードが召喚に成功したターン、相手は魔法、罠を発動できないんだぜ。」

「な、なんじゃと！？」

「まだまだ、手札から 強欲な壺 を発動。2枚ドロ。そして、埋葬されし生贄 発動！これは自分と相手の墓地からモンスターカードを1枚ずつゲームから除外して発動する。自分の手札からレベル5以上のモンスターを表側表示で特殊召喚する。俺の墓地の魔導騎士ディフェンダー、梶木の墓地の海月^{クラゲ} ジェリーフィッシュ

を除外し、手札からブラック・マジシャン（攻2500）を特殊召喚！！」

ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100

魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス。

「くっ！！」

「ブリザード・プリンセスでヒゲアンコウ、ブラック・マジシャンでデビルシャークを攻撃！ ブリザード・ショットブラック・マジック 氷結弾 黒魔導！！」

「くっ！！」

梶木LP2400 1100 300

「カードを伏せて、俺のターンは終了だ。」

遊夜LP2400 手札1

場

・ブラック・マジシャン（攻2500）

・ブリザード・プリンセス（攻2800）

・セットカード

・セットカード（聖なるバリアミラーフォース）

「ハハハッ、強いのお遊夜、オレも負けるわけにはいかな。オレの、ターンじゃー！！」

梶木LP300 手札3

場

- ・ウォーターハザード
- ・セットカード

「オレは強欲な壺を発動じゃい！これで2枚ドロー。」

おいおい、ここで強欲を引いたのか。

「オレは 伝説の都アトランティス 発動じゃ！このフィールド魔法は「海」として扱うんじゃ。このカードがフィールド上に存在する限り、フィールド上に表側表示で存在する全ての水属性モンスターの攻撃力・守備力は200ポイントアップし。また、手札及びフィールド上の水属性モンスターのレベルは1つ下がるんじゃ。」

おいおい、海じゃなく強化版のアトランティスかよ。

「…オレはモンスターとカードをセット。ターンじゃ。」

梶木 手札1

場

- ・モンスター
- ・ウォーターハザード
- ・セット
- ・セット
- ・伝説の都アトランティス

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札2

場

- ・ブラック・マジシャン（攻2500）
- ・ブリザード・プリンセス（攻2800）
- ・セットカード
- ・セットカード（聖なるバリアミラーフォース）

「俺はモンスターを召喚！」

召喚僧サモンプリースト

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻 800 / 守1600

このカードはリリースできない。

このカードは召喚・反転召喚に成功した時、守備表示になる。

1ターンに1度、手札から魔法カード1枚を捨てる事で、

自分のデッキからレベル4モンスター1体を特殊召喚する。

この効果で特殊召喚したモンスターは、そのターン攻撃する事ができない

「それにチェーンし、げきりゅうそんご激流葬 を発動じゃい!!」

「んなっ!?!」

やばい!俺にはもうすることがない!!

「くっ!ターンエンドだ!」

遊夜LP2400 手札1

場

・セットカード

・セットカード（聖なるバリアミラーフォース）

「オレのターンじゃ!!!」

梶木LP300 手札2

場

・ウォーターハザード

・セット

・伝説の都アトランティス

「オレは ウォーターハザード の効果発動！手札からレインボー
フィッシュ（攻1800）」

レインボーフィッシュ

通常モンスター

星4 / 水属性 / 魚族 / 攻1800 / 守 800

世にも珍しい七色の魚。捕まえるのはかなり難しい

「効果で攻撃力200アップ。攻撃じゃ!!!」

「罨カード発動!!! 聖なるバリア ミラーフォース !!! 相手モ
ンスターの攻撃宣言時に発動！相手フィールド上に存在する攻撃表
示モンスターを全て破壊するぜ!!!」

「それにチェーンじゃ!!! カウンター罨 魔宮の賄賂 !!! 相手の魔
法・罨カードの発動を無効にし破壊するんじやい!!! 相手はデッキ
からカードを1枚ドロウするんじやがな。」

「っ!!!...ドロウ。」

遊夜LP2400 400 手札1 2

「オレはカードをセット。ターンエンド!」

梶木LP300 手札0

場

- ・レインボーフィッシュ (攻1800 2000)
- ・ウォーターハザード
- ・セット
- ・伝説の都アトランティス

くっ…楽しいが、やばくなってきたな。

「神は、あなたと同等の決闘者^{デュエリスト}レベルにしたみたいですね。」

「ああ、元の世界では、友達が除去ガジエや未来オーバー、宝札エグゾ、宣告者パーミッションとかで負けてばっかで、俺よりも滅茶苦茶強かったからな。というか、前世まともなバトルが見たことねえな俺…。特殊勝ちされたり未来オーバーのサイバーとハーフシャットのコンボでオーバークイルされまくったからなあ…。(泣)」

「お…おい、大丈夫か!？」

「あ、ああ、大丈夫だ。理不尽な過去の決闘^{デュエル}を思い出して泣いていただけだ。」

「そ、そうか。」

「じゃあ、改めて…俺の、ターン!…!」

遊夜LP400 手札3

場

・セットカード

「俺は、永続魔法発動！マジック・サンクチュアリ！！このカードは発動時にお互いのデッキから魔法カードを1枚選択して手札に加える。そしてこのカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、互いのプレイヤーは全ての魔法カードを速攻魔法カードとして扱って発動する事が出来る。だが装備・永続魔法の特性は無効化されないがな。そして、今手札に加えたカード、天よりの宝札を発動！！お互いの手札は6枚になるようドロウする。」

遊夜・梶木 手札6

「俺は 賢者の石サバティエル を発動！効果でLPを半分払い、デッキ、墓地からカードを選択し、手札に加える。俺は 死者蘇生 を選択する。その後、このカードをデッキに戻し、シャッフル。」

遊夜LP400 200

「 死者蘇生を発動。効果で墓地からブラック・マジシャン（攻2500）を特殊召喚！そしてさらに魔法カード発動。 師弟の絆！自分のフィールド上に「ブラック・マジシャン」が表側表示で存在する時に発動する事ができる。自分の手札・デッキ・墓地から、「ブラック・マジシャン・ガール」1体を特殊召喚する。この効果で特殊召喚した「ブラック・マジシャン・ガール」が戦闘でモンスターを破壊した時、自分はデッキからカードを1枚ドロウする。来い！ ブラック・マジシャン・ガール ！！」

ブラック・マジシャン・ガール

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2000 / 守1700

お互いの墓地に存在する「ブラック・マジシャン」

「マジシャン・オブ・ブラックカオス」1体につき、

このカードの攻撃力は300ポイントアップする

「そして、2体を生け贄に、黒の魔法神官（攻3200）を特殊召喚！」

「おお、来たか遊夜の切り札！」

黒の魔法神官（マジック・ハイエロフアント・オブ・ブラック）

効果モンスター

星9 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻3200 / 守2800

このカードは通常召喚できない。

自分フィールド上に存在するレベル6以上の魔法使い族モンスター2体を

生け贄に捧げた場合のみ特殊召喚する事ができる。

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、
畏カードの発動を無効にし破壊する事ができる

「こ、攻撃力3200!？」

「永続魔法 一族の結束 を発動！自分の墓地に存在するモンスター1の元々の種族が1種類の場合、自分フィールド上に表側表示で存在するその種族のモンスターの攻撃力は800ポイントアップする！俺の墓地には魔法使い族しかない、よって効果適応だ。」

黒の魔法神官（攻3200 4000）

「攻撃力4000じゃと…どないせいっつーんじゃ!？」

…元の世界では4000なんてはした攻撃力なんだが…。まあ、こ
ちでは驚異か。

あと、黒の魔法神官、ほんとにフィニッシャーになることが多いな。

「黒の魔法神官でレインボーフィッシュを攻撃!! セレスティア
ル・ブラック・バーニング ー!!」

「うああああああああああ!!!!」

梶木LP300 ー1700

遊夜LP200

「…勝った、か…。」

今回はマジで危なかった。最後のターン、残りの手札2枚が 拡散
する波動 と 魔法族の里 って。サバティエル引いてなかったら
攻撃力2000以上のモンスターを出せなかったし…。

「はー、オレの負けか。おめえ強えな。」

「ああ、あんたも強いな。こっちも最後にあのカードを引かなけれ
ば負けていたかもしれない。」

「へへー、そうだろ!ほれ、パズルカードとレアカードじゃ。…頑
張れよ、遊夜、城之内!オレの分までやってくれよ!」

「ああ！」「もちろんだぜ！」

「これで、パズルカードが揃ったな。」

「ああ、さて、場所は…っつと。」

「ここだな。」

「ああ！いこつぜー！」

…その前に、マリクがきて、洗脳されるけど。…邪魔したいが、真^{レッド}紅眼^{ドレイズ}を遊戯のデッキに入れさせるのと、城之内の妹の目のために、今回は素直に通しておいてやるか。

アトランティスって、クジラとか亀の儀式と相性悪いよな（後書き）

コピー&貼り付けという楽な方法があったんですね。自分、ずっとあれをいちいち書いていたんだと思っていました。

遊戯VS洗脳城之内（前書き）

今回、ネタが思いつかないので洗脳城之内と遊戯の決闘をかき、ところどころオリジナルにしてみましたと思います。

遊戯VS洗脳城之内

今、俺は椅子に縛り付けられていて、目の前には洗脳された城之内と遊戯がむかいあっている。

「始めるぜ、遊戯…。生と死をかけた決闘をな…！」

「城之内君！正気を取り戻してくれ！」

「へっ、正気…い！？俺は正気だぜ？正気で遊戯、てめーをぶちのめしてえのさ！」

「遊戯！てめーは俺との決闘から逃げることはできねーぜ…。どちらかが命を落とす死の決闘からなあ！」

…うん、どうしてこうなったか思い返してみよう。

まず、デュエルが終わって、城之内たちと外に出たらマリクと獏良が来て、
不良を城之内とぶちのめして、誰かに殴られて（多分マリク）気絶させられて、

ここまで連れてこられた。

…うん、状況把握完了だ。

で、今デュエルが始まるのか。

「「決闘！！」」

遊戯LP4000

城之内LP4000

「俺のターン、ドロー…。」

ドローしたあと、遊戯は固まる。

「おらおらどうした！？早くモンスターを出しな！遊戯！」

「…俺は、クイーンズ・ナイト（守1600）を召喚。カードを1枚伏せ、ターンエンド。」

クイーンズ・ナイト

通常モンスター

星4 / 光属性 / 戦士族 / 攻1500 / 守1600

しなやかな動きで敵を翻弄し、

相手のスキを突いて素早い攻撃を繰り返す

遊戯LP4000 手札4

場

・クイーンズ・ナイト（守1600）

・セットカード

…？原作やアニメと違い、バフオメットじゃなくクイーンズ・ナイト？どういうことだ？

「（…）シーク、いつでもでられるよう準備しておいてくれ。」

『了解です。』

「へっ俺のターンだな、ドロー！…はっ！俺は手札から魔法カード
サンダーボルト を発動だ！こいつは無条件に相手モンスターを
すべて破壊する極悪な効果だぜ！」

「なに！？」

…ここでライトニングボルテックスじゃないのは、世界の修正力か
何かか？

「さらに、俺はゴ布林突撃部隊（攻2300）を場にだし、^{フィールド}装備
魔法 デーモンの斧 を発動！これでゴ布林突撃部隊の攻撃力は
1000アップするぜ！」

ゴ布林突撃部隊

効果モンスター

星4/地属性/戦士族/攻2300/守 0

このカードは攻撃した場合、バトルフェイズ終了時に守備表示にな
り、
次の自分のターンのエンドフェイズ時まで表示形式を変更する事が
できない

「攻撃力3300!？」

「へっ！遊戯にダイレクトアタック!!」

「くっ！畏カード発動！ 六芒星の呪縛 …!!このカードに攻撃を
加えたモンスターは攻撃力を700下げ、さらに攻撃する事ができ
ず、表示形式を変更する事もできない!!」

ゴブリン突撃部隊（攻3300 2600）

「ちっ、だが、攻撃ができずとも、ダメージを与えることはできるんだぜ？遊戯！こいつを喰らいな！ファイアボール！！遊戯に500ポイントダメージを与える！！」

「ぐああ！！」

遊戯LP4000 3500

「へへ…！お前のターンだぜ！遊戯！」

城之内LP4000 手札2

場

・ゴブリン突撃部隊（攻2600）

・デーモンの斧

「くっ…俺のターン！」

遊戯LP3500 手札5

場

・六芒星の呪縛

「俺は、洗脳・ブレインコントロール・を発動！LPを800払い、城之内君のゴブリン突撃部隊を俺の場に呼ぶ！」

遊戯LP3500 2700

「小賢しい真似しやがって…！」

「俺は、ゴブリンを生け贄に、…デーモンの召喚を場に出す！」

デーモンの召喚

通常モンスター

星6 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻2500 / 守1200

闇の力を使い、人の心を惑わすデーモン。

悪魔族ではかなり強力な力を誇る。

デーモンの召喚だ！？ あれはバトルシティではギルファアデーモンになっていたはずだぞ！？

「デーモンの召喚でダイレクトアタック！ 魔降雷まじゅうらい！！！」

「ちっ！」

城之内LP4000 1500

「へっ、効かねえよ…そんな攻撃い…！」

やっぱり真紅眼レッドアイズじゃなきゃダメか？

「くっ、カードをセットし、俺のターンは終了だ…。」

遊戯LP3500 手札2

場

- ・デーモンの召喚（攻2500）
- ・セットカード

「俺のターン！ものマネ幻想師を召喚するぜ！こいつでデーモンの召喚の能力をコピーするぜ！」

城之内LP1500 手札2

場

- ・ものマネ幻想師（攻2500）

ものマネ幻想師

効果モンスター

星1 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻 0 / 守 0

このカードが召喚・反転召喚・特殊召喚に成功した時、

相手フィールド上に表側表示で存在するモンスター1体を選択して発動する。

このカードの攻撃力・守備力は、

選択したモンスターの元々の攻撃力・守備力と同じ数値になる

「何っ!?!」

「くくくつ、行くぜ！モノまね魔降雷 ！！」

「くつ!?!」

「俺は、強欲な壺を発動、カードを2枚引き、カードを2枚伏せ、

ターンエンドだぜ。」

城之内LP1500 手札1

場

・セットカード

・セットカード

「…俺のターン！」

遊戯LP3500 手札3

場

・セットカード

「俺は、ビッグ・シールド・ガードナー（守2600）を召喚し、ターンエンド。」

ビッグ・シールド・ガードナー

効果モンスター

星4/地属性/戦士族/攻 1000/守2600

フィールド上に裏側表示で存在するこのモンスター1体を対象にする魔法カードの発動を無効にする。

その時、このカードは表側守備表示になる

え〜、こっちの鬼畜ガードナーかよ…。

「へっ、俺もターンだな。…俺は天よりの宝札を発動だぜ！精々いいカードをひけるよう祈るんだな！」

遊戯・城之内 手札6

「へっ。俺は手札2枚の デスメテオ を発動だ！これで2000のダメージを受けてもらうぜ！」

「あああああああ！！！」

遊戯LP3500 1500

「ハハハハハハ！！俺のデッキは最大限に火力を上げてあるのよ！モンスターカードなんて必要ないぐらい禁止カードでなあ！！俺は、ロケット戦士を召喚。ターンエンド。」

ロケット戦士

効果モンスター

星4 / 光属性 / 戦士族 / 攻1500 / 守1300

自分のバトルフェイズ時、このカードは戦闘では破壊されず、このカードの戦闘によって発生する自分への戦闘ダメージは0になる。

このカードがモンスターを攻撃した場合、ダメージ計算後に攻撃対象モンスターの
攻撃力はエンドフェイズ時まで500ポイントダウンする

「く…き、君の決闘者^{デュエリスト}の心は、少しも痛みを感じちゃいないのか…」

「ケッ、決闘者の心だあ…？知るかなもん。」

「…俺の全身を貫く痛みは…君のカードで焼かれた痛みなんかじゃない…。デュエリストとしての心を失ってしまった君への悲しみだ
！！！」

「…俺はお前を潰すぜ遊戯…。お前のターンだ！！遊戯！！！」

…遊戯と交代するのか？

「…今度は僕が城之内君の相手だよ。」

「奴を出せ！てめえなんか俺の相手じゃねえ！！」

「僕のターンだ！…手札から魔法カード、エクステンジを発動！これで、お互いの手札を1枚交換する！」

「ケツ、どうせろくな手札が…！！れ、真紅眼！？^{レッドアイズ}へっ、俺はこいつを…！？なぜ取れないっ、うわああああアアアア！！？」

とったカードは…強欲な壺、ここも違うか。

「城之内君！！…僕は、クリボーを召喚、カードをセットし、ターンエンド。」

クリボー

効果モンスター

星1/闇属性/悪魔族/攻 300/守 200

相手ターンの戦闘ダメージ計算時、このカードを手札から捨てて発動する。

その戦闘によって発生する自分への戦闘ダメージは0になる

遊戯LP1500 手札3

場

・ビッグ・シールド・ガードナー(守2600)

・クリボー(守200)

- ・セットカード
- ・セットカード

「くっ……。俺のターンだ！」

城之内LP1500 手札4

場

- ・ロケット戦士（攻1500）
- ・セットカード
- ・セットカード

「俺は、リトル・ウインガードを召喚。」

リトル・ウインガード

効果モンスター

星4 / 風属性 / 戦士族 / 攻1400 / 守1800

このカードは自分のエンドフェイズに1度だけ表示形式を変更する事ができる

「クリボーを攻撃だ!!!」

「くっ、畏カード 魂の綱 を発動！自軍モンスターが破壊されたとき、LP1000払い、デッキからレベル4以下のモンスター1体特殊召喚する！僕が呼び出すのは、キングス・ナイト!!!」

キングス・ナイト

効果モンスター

星4 / 光属性 / 戦士族 / 攻1600 / 守1400

自分フィールド上に「クイーンズ・ナイト」が存在する場合、デッキ

キから「ジャックス・ナイト」
1体を特殊召喚する事ができる

「ちっ、生贄を残しちまったか。ターンエンド。」

城之内LP1500 手札3

場

- ・ロケット戦士(攻1500)
- ・リトル・ウイングガード(攻1400)
- ・セットカード
- ・セットカード

「僕のターン!!」

遊戯LP1500 手札4

場

- ・ビッグ・シールド・ガードナー(守2600)
- ・キングス・ナイト(攻1600)
- ・セットカード
- ・セットカード

「僕は場の2体を生け贄に捧げ、レッドアイズ・ブラックドラゴンを召喚!!」

レッドアイズ ブラックドラゴン
真紅眼の黒龍

通常モンスター

星7 / 闇属性 / ドラゴン族 / 攻2400 / 守2000
真紅の眼を持つ黒竜。怒りの黒き炎はその眼に映る者全てを焼き尽くす

「レ、レッドアイズ…。」

「レッドアイズの攻撃！！リトル・ウイングガードに 黒炎弾こくえんだん！！」

「くっ！」

城之内 LP 1500 500

「ターンエンド。」

「お、俺の…ターン…」

「……………嫌だっ！俺はそんな記憶、刻みつけたくねえ！」

…少し、驚いた。いきなり大声出すなど言ってやりたい。

「…この決闘デュエルの真の敗者が分かったよ、それは、マリク！お前だ！いくら洗脳しようと、城之内君はお前の言つとおりにならない！！」

「う、器如きが生意気に…！！」

「本当に僕に勝ちたいなら、復讐の念で攻撃してみる！マリク！！」

「…デスメテオ…！！」

「!!」

「遊・戯…！死ぬなあ！遊戯い！！」

「うん！リバースカードオープン！ 精霊の鏡　！！相手が魔法カードを発動した時のカウンター罠！！その魔法を掌握する！！」

~~~~~長い長いセリフ~~~~~

「君は、僕がひとりぼっちじゃないってことを…そして、勇気を教えてくれた…。大切な親友だ！！城之内君…大好きだ…！！」

「遊戯！！」

「精霊よ！デスメテオの対象は、僕だ！」

…そろそろ、行くか。

「行くぞ！シーク！！」

この縛ってる鎖は、頑丈だが、魔力を纏へわせれば、意味はない！

ガキッ！

「おっと、そこまでだ。」

「遊夜！？」

「遊夜くん！？」

遊戯に近づくと、手錠の鎖を思いっきり引っ張り、壊す。さらに、

鍵の入っている箱を叩き割り、中から鍵を取り出し、遊戯の手錠を外した。

「お、おい、遊夜？どういうことだ？」

自分の手錠を外した城之内が話しかけてくる。

「どういうことって言われても、お前と一緒に気絶させられて、今やっと（嘘）外してきたところだ。」

「そ、そうか。」

「で、そろそろ来る頃だな（ボソッ）」

「え？何か言ったか？」

「いや？なんでもない。俺は先に行っておくよ。じゃあな。」

そう言つと、遊夜は魔力で強化した状態でバトルシップまで走っていった。

## 遊戯VS洗脳城之内（後書き）

最後の方が、時間がなくなったので、やっつけになってしまいました。m ( | | ) m

デュエルシップ、やっぱでかいな。(前書き)

イシズ梓強奪します。未来がかわりました(笑)

そしてここで書いたパツク、なんとというランダムパツク。

今回は繋ぎ目なので短めです、

デュエルシップ、やっぱでかいな。

さつき遊戯たちと別れて、童実野スタジアム建設予定地に走ってきた俺は磯野からパスを貰い、デッキ構築を練り直している。

「魔力カウンターデッキにしようか？いや、主力がアーカナイトマジシャン、シンクロだし、モンスターを直接攻撃するから禁止だな。」

「メタル化魔法反射装甲 を使えばオベリスクは攻撃力2000以上で勝てるし、 禁じられし聖杯 でオシリス・ラーは1ターンのみ無効化できる。元の世界では スキルドレイン だしなあ。あ！ エフェクト・ヴェーラー も使えるか。」

そう言い、スタジアムの近くにあるカード屋でパックを買う。

「あなたは2、3パックを買って、何故、あなたはサーチもせず団結の力 や 貪欲な壺 、 冥府の使者ゴーズ が当たるのですか？」

「知らないよ。けどなあ、団結もゴーズも貪欲も持つてるんだが。」

「元の世界でゴールドパックに、Rとやらの付録に、交換で手に入れたカードですからね。」

「まあいいや。城之内たちにあげるか。俺は使わないし。」

「実際、絶版になったカード、 転生の予言 が欲しかったな。ラ

ーが墓地に行ってもデッキに戻せるから。ダンディ も欲しかったが、魔法使いには合わないしな。

『 無欲な壺 というほぼ同じ効果のカードがあたりましたが。そちらはどうでしょうか? 』

「いや、死者蘇生 でラーを蘇らせるのを防ぐためには畏か速攻魔法じゃなきゃダメなんだ。」

…あれ?いつの間にかラー対策を始めてしまった。別に俺がマリクと戦うというわけでもないのに。

.....

「よお、遊戯。城之内。やっと来たのか。」

「なあ、俺たち(舞)は全力で車を飛ばしたのに、なんで先にお前が着いてるんだよ。」

「シーク達精霊を舐めないでもらいたい。」

「あ、ああ…。」

パックを買い、戻ってきたところ、遊戯たちがほぼ同じタイミングで到着した。

「?...ねえ、あんたって、どっかで見たような...?」

孔雀舞が聞いてくる。

「あー、ほら、朝、海馬と生放送でデュエルして勝った奴だ。」

城之内、その言い方はなくないか？

「ああ！そつだ思い出した！天月遊夜だったね！」

「ああ。」

話している間に時間になった。

「本戦出場の方は、速やかに集まってください。」

「…集まったはいいが、ここでデュエルするのか？」

「ふん、やはり凡骨は凡骨だな。」

「凡骨って言うなあ！」

「落ち着け、城之内、海馬、その言い草だと、何か宇宙そふでデュエルするとは言わないよな？」

「ふうん、さすが俺を倒した決闘者、勘が鋭いな。」

その時、

ゴオオオオオオオオオオオ

「な、なんだなんだア！！！？？」

空に飛行船が現れる。やっぱでけえな…。

「これが決勝へ進むデュエルをする舞台！名付けて【デュエルシップ】！」

「まあ、名前とかはぶっちゃけどうでもいいから、さっさとはいろうぜ。」

飛行機とか乗ったとないから、空の旅は楽しみだ！

「ふうん、そう焦るな、希望に満ちた眼で見ても、デュエルシップは逃げんぞ。」

その言葉で、顔が赤くなるのを感じた。希望に満ちた眼で見てもいいじゃん。まだ中学校こうこうせいだもの。

「まあいいや。デュエルしようぜ！」

決勝進出者は俺、遊戯、城之内、海馬、舞、洗脳されたバクラ、マリク、リシドか。イシズ、枠とってすまない。

「いや、僕はデッキを組み直すから、デュエルはできないよ。」

「へへ、ここで勝ち進めば戦えるだろ？」

「俺もデッキ構築マグネットモンスターを練り直し（デッキに入れ）しなければいけない。」

「あたしは遠慮しておくよ。」

「僕は勝てそうにないからいいよ…。」

みんな一斉に断られた。…俺はシークに言ったつもりなんだが…？

『声に出てましたよ。』

またかよ俺。

デュエルシップの長い廊下を歩き、部屋についた。

「さて、シーク、決闘だ！」

『はい。わかりました。』

そう言うとシークは実体化し、予備のデュエルディスクを構える。

「行くぞ！シーク！」

「ふふふ！来なさい、遊夜！」

「デュエル決闘！！」

シークのデッキはほぼ俺と同じデッキだ。これじゃ、魔法族の里の効果が、ないようなもんだな。

…今回は、遊戯たちがいないから、少しデッキを改良した。主に融合デッキで

遊夜LP4000

シークLP4000

「俺のターン！！」

遊夜 手札6

「俺はクルセイダー・オブ・エンディミオンを召喚！」

クルセイダー・オブ・エンディミオン

デュアルモンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1900 / 守1200

このカードは墓地またはフィールド上に表側表示で存在する場合、通常モンスターとして扱う。

フィールド上に表側表示で存在するこのカードを通常召喚扱いとして再度召喚する事で、

このカードは効果モンスター扱いとなり以下の効果を得る

1ターンに1度、フィールド上に表側表示で存在する

魔力カウンターを置く事ができるカード1枚に魔力カウンターを1つ置く事ができる。

この効果で魔力カウンターを置いたターンのエンドフェイズ時まで、このカードの攻撃力は600ポイントアップする。

「カードを1枚伏せターンエンド。」

遊夜 手札4

場

M

・クルセイダー・オブ・エンディミオン（攻1900）

M / T

・セットカード

「私のターンですね。」

シーク 手札6

「私は、マジカル・コンダクターを召喚です。」

マジカル・コンダクター

効果モンスター

星4 / 地属性 / 魔法使い族 / 攻1700 / 守1400

自分または相手が魔法カードを発動する度に、

このカードに魔力カウンターを2つ置く。

このカードに乗っている魔力カウンターを任意の個数取り除く事で、

取り除いた数と同じレベルの魔法使い族モンスター1体を、

手札または自分の墓地から特殊召喚する。

この効果は1ターンに1度しか使用できない。

「そして、永続魔法 魔法族の結界 を発動！カウンターが乗ります。強欲な壺、カードを2枚ドロ！。カウンターが乗ります。

永続魔法 マジック・サンクチュアリ！お互いに魔法カードを手札に加える。カウンターが乗ります。そして、魔力カウンター6つを取り除き、ブラック・マジシャン・ガールを特殊召喚！！」

ブラック・マジシャン・ガール

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2000 / 守1700

お互いの墓地に存在する「ブラック・マジシャン」

「マジシャン・オブ・ブラックカオス」1体につき、

このカードの攻撃力は300ポイントアップする

「そして、マジック・サンクチュアリ で手札に加えた魔法カ―

ド、賢者の宝石 を発動！効果でブラック・マジシャン（私自身）

を特殊召喚!!」

ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100

魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス

シーク 手札3

場

M

・マジカル・コンダクター（攻1700）

・ブラック・マジシャン・ガール（攻2000）

・ブラック・マジシャン（攻2500）

M / T

・マジック・サンクチュアリ

・魔法族の結界

「え…なにそのコンボ…」

「ふふふ、あなたもやっているではありませんか。」

「うっ、否定できない…。」

「ふふふ、さらに魔法カード 奇跡のマジックゲート を発動します。あなたの知っているとおり、自分の場に魔法使いが2体以上いる場合、そのモンスターのコントロール権を得ます。私はクルセイダー・オブ・エンディミオンを選択。4体で直接攻撃！  
ダイレクトアタック 私はクルセイダー・オブ・エンディミオンを選択。4体で直接攻撃！  
カオス・マジック 混沌魔導爆撃波  
ク・バースト !!!」

「させるかああ！！リバースカードオープン！カウンター畏 攻撃  
の無力化 ！！こいつで、バトルフェイズを終了させる！！」

「惜しかったですね。あと少しだったのですが。」

「ONE TURN KILL させられてたまるか！」

「あなたのデッキなのですが…。（苦笑）」

「…だよー。」

「…私はカードを伏せ、これでターンエンド。」

シーク 手札2

M

・マジカル・コンダクター（攻1700）

・ブラック・マジシャン・ガール（攻2000）

・ブラック・マジシャン（攻2500）

・クルセイダー・オブ・エンディミオン（攻1900）

M/T

・マジック・サンクチュアリ

・魔法族の結界

・セットカード

「俺のターン！！」

遊夜 手札5

場

無し

「俺は手札を一枚捨てることでレベル5、T H A・トリツキーを特殊召喚！そしてレベル2、アーケロンファイロを召喚！俺はこの2体をチューニング！」

【次代を背負う魔術の使徒よ 仲間の魔力を纏いて 敵を薙ぎ倒せ！シンクロ召喚！】

現れる！アーカナイトマジシャン！！効果発動！魔力カウンター2つを取り除き、魔法族の結界とセットカードを破壊して、装備魔法 ワンダー・ワンド を発動！こいつはこのカードと装備モンスターを墓地に送り、2枚ドロウ出来る！そして、今引いたミラクル・シンクロ・フュージョン を発動！これは自分のフィールド上か墓地から、融合モンスターカードによって決められた融合素材モンスターをゲームから除外し、シンクロモンスターを融合素材とするその融合モンスター1体を融合召喚扱いとしてエクストラデッキから特殊召喚する！俺は、覇魔導士<sup>はまどうし</sup>アーカナイトマジシャンを選択し！墓地のアーカナイトマジシャンとT H A・トリツキーを除外し、特殊召喚！！」

ザ  
T H E ・トリツキー

効果モンスター

星5 / 風属性 / 魔法使い族 / 攻2000 / 守1200

このカードは手札を1枚捨てて、手札から特殊召喚する事ができる。

アーケイン・ファイロ

チューナー（効果モンスター）

星2 / 炎属性 / 魔法使い族 / 攻1000 / 守400

このカードがシンクロモンスターの

シンクロ召喚に使用され墓地へ送られた場合、

自分のデッキから「バスター・モード」1枚を手札に加える事がで

きる

アーカナイト・マジシャン

シンクロ・効果モンスター

星7 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻 4000 / 守 1800

チューナー＋チューナー以外の魔法使い族モンスター1体以上

このカードがシンクロ召喚に成功した時、

このカードに魔力カウンターを2つ置く。

このカードに乗っている魔力カウンター1つにつき、

このカードの攻撃力は1000ポイントアップする。

また、自分フィールド上に存在する魔力カウンターを1つ取り除く事で、

相手フィールド上に存在するカード1枚を破壊する。

はまごつし  
覇魔導士アーカナイト・マジシャン

融合・効果モンスター

星10 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻 14000 / 守 2800

魔法使い族シンクロモンスター＋魔法使い族モンスター

このカードは融合召喚でのみエクストラデッキから特殊召喚する事ができる。

このカードが融合召喚に成功した時、このカードに魔力カウンターを2つ置く。

このカードに乗っている魔力カウンター1つにつき、

このカードの攻撃力は1000ポイントアップする。

1ターンに1度、自分フィールド上に存在する魔力カウンターを1つ取り除く事で、

以下の効果を発動する事ができる。

フィールド上に存在するカード1枚を選択して破壊する。

自分のデッキからカードを1枚ドローする。

「…トリッキーを使つてのシンクロ、しかも ワンダーワンド で  
手札補充、しかもそのドローで ミラクル・シンクロ・フュージョ  
ン、チートドローですね。」

「うつせえ。手札から 拡散する波動 発動！1000ライフポイ  
ントを払い、自分フィールド上のレベル7以上の魔法使い族モン  
スター1体を選択する。このターン、選択したモンスターのみが攻撃  
可能になり、相手モンスター全てに1回ずつ攻撃出来る。さらにこ  
の攻撃で破壊された効果モンスターの効果は発動しない。」

遊夜LP4000 3000

「攻撃力3400の全体攻撃、鬼畜ですね。」

「…うつさい。覇魔導士アーカナイトマジシャンで攻撃！ 覇魔導魔はまどうま  
法ゴッドノウズ …！」

「くっ！」

シークLP4000 2300 900 0 11500

「…ははは！逆にこっちがONE TURN KILLされました  
よ。」

「どうだ！シーク！」

「たった1枚のカードが勝負を分けましたね。」

「攻撃の無力化 か？」

「はい、あれさえなければ、私の勝ちでしたね。私の手札には、死者蘇生」と早すぎた埋葬、セットカードは聖なるバリアミラーフォース でしたから。」

そう言つて手札を見せてくるシーク…それを見て俺の顔は青くなっているだろう。もし、アーカナイトマジシャンでセットじゃなく、モンスターを破壊して攻撃していたら、ミラーフォースで破壊され、打つ手がなくなり、負けていたのだから。

「…ほとんど引き分けか。」

「同じデツキ、ミラーバトルでしたし、当然でしょう。」

「自分の魂デツキに打ち勝て…か？シーク。」

「はい。」

デュエルが終わると同時に、館内にアナウンスが響く。

バトルシティ決勝進出者の方々はロビーに集まってください！

…来たか。

「…行くか！シーク！」

『はい。』

デュエルシップ、やっぱでかいな。(後書き)

バトルシテイは大体は同じなので、デュエルは遊夜の番まで飛ばします。よろしくお願いしますね。

- ・10月30日、訂正しました。アーカナイトのところを
- ・シンクロのセリフはWikiで見たのを自分なりに変えたものです。

デュエルシップのデュエル、体いてえ……。 (前書き)

対戦表？そんなの適当に決まってる。原作どおりにしたら遊夜VS海馬だから。オリジナルに変えました。

デュエルシップのデュエル、体いてえ…。

今、遊夜は呼び出しがかかり、急いでロビーに向かっている。

「やべ！すっかりデュエルに夢中になつてたな〜。」

『全く…。』

「お、ついたぜ。」

「おせーぞ！遊夜！」

「悪い悪い、デッキ構築をしていたらおそくなった。」

「ったく…。それより、それぞれの対戦相手が決まったぜ！」

「へえ……。」

そう言つて遊夜は対戦表を見る。

1回戦

・ 猿良 了VSナム（マリク・イシュタル）

2回戦

・ 武藤 遊戯VS城之内 克也

3回戦

・ 海馬 瀬戸VSマリク・イシュタル（リシド）

4回戦

・ 天月 遊夜VS孔雀 舞

…おい、なんだこの組み合わせ…。  
1回戦なんてただの八百長じゃないか…。

「おい！行こうぜ遊戯！遊夜！」

「…ああ。」

そんなこんなで結果。

1回戦

ナムが八百長で勝利、

2回戦

遊戯が圧倒して勝利

3回戦

海馬が押されていたが、リシドのコピーラーの暴走で勝利だが闇マ  
リクが目覚める。

「…で、残りは俺と孔雀さんか。」

「舞でいいわ。でも、子供だからって、手加減する気はないわよ。」

「…ああ、元からそのつもりだ！」

…しかし、ここに立つと体が冷える＋痛い辛いぜ…。

「<sup>デュエル</sup>決闘！！」

遊夜LP4000

舞LP4000

「俺のターン、ドロー！」

遊夜 手札6

…ここは様子見をするか。

「俺は魔導騎士ディフェンダーを守備表示で召喚し、ターンエンド。

」

遊夜LP4000 手札5  
場

・魔導騎士ディフェンダー（守2000）

魔導騎士ディフェンダー

効果モンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1600 / 守2000

このカードが召喚に成功した時、

このカードに魔力カウンターを1つ置く（最大1つまで）。

フィールド上に表側表示で存在する魔法使い族モンスターが破壊される場合、

代わりに自分フィールド上に存在する魔力カウンターを、

破壊される魔法使い族モンスター1体につき1つ取り除く事ができる。

この効果は1ターンに1度しか使用できない

「あたしのターン!!!」

舞 手札 6

「あたしは増援を発動！デッキからアマゾネスの聖戦士を召喚！」

アマゾネスの聖戦士<sup>せいせんし</sup>

効果モンスター

星4 / 地属性 / 戦士族 / 攻1700 / 守 300

自分のフィールド上の「アマゾネス」という名のついたモンスターカード1枚につき、

このカードの攻撃力は100ポイントアップする

「あたしはカードを1枚セット、ターンエンド。」

舞 LP4000 手札 4

場

・アマゾネスの聖戦士（攻1800）

・セットカード

… やっぱアマゾネス系が入ってんのか。

「俺のターン！」

遊夜 LP4000 手札 6

場

・魔導騎士ディフェンダー（守2000）

「俺は手札を一枚捨て、THA・トリッキーを召喚！」

THE<sup>ザ</sup> トリッキー

効果モンスター

星5 / 風属性 / 魔法使い族 / 攻2000 / 守1200

このカードは手札を1枚捨てて、手札から特殊召喚する事ができる

「レベル5が特殊召喚!？」

「ああ、こいつは手札を一枚捨てることで特殊召喚ができるのさ。」

「くっ。。。」

「俺は 奇跡のマジックゲート を発動!これは場に魔法使い族のモンスター2体以上いる場合、相手フィールドのモンスター1体のコントロール権を得る。俺はアマゾネスの聖戦士を選択する!」

「なんですって!？」

「魔導騎士ディフェンダーを攻撃表示にし、3体でダイレクトアタック!!」

「させないわ!永続罠発動! 銀幕のミラーウォール !!これは場に出ている限り、攻撃してきた相手フィールドのモンスターの攻撃力を半分にする!」

「なんだと!？」

魔導騎士ディフェンダー ATK1600 800

THA・トリッキー ATK2000 1000

アマゾネスの聖戦士 ATK1800 900

舞 LP4000 3200 2200 1300

「…俺はカードをセット、ターンエンドだ。」

遊夜 手札2

場

・魔導騎士デイフェンダー（攻800）

・THA・トリッキー（攻1000）

・アマゾネスの聖戦士（攻900）

・セットカード

「あぶねえ…たった1ターンで勝負がつくと思っちまったぜ。」

「俺もだ、城之内君。」

「…俺も、勝負がつくと思っただがなあ…。」

『そう上手くは行きませんね。』

「まだあたしは負けていない！デュエリストは最後の最後まで勝負をあきらめないんだ！あたしのターン！！」

舞LP1300 手札5

場

・銀幕のミラーウォール

「あたしはハーピー・クイーンを召喚！」

ハーピー・クイーン

効果モンスター

星4 / 風属性 / 鳥獣族 / 攻1900 / 守1200

このカードを手札から墓地に捨てる。

デッキから「ハーピィの狩場」1枚を手札に加える。

このカードのカード名は、フィールド上または墓地に存在する限り

「ハーピィ・レディ」として扱う。

「あたしはハーピィ・クイーンでTHA・トリッキーを攻撃!」

「俺はディフェンダーの効果発動!カウンターを取り除き、破壊を無効!」

「でも、超過ダメージは受けてもらっよ!」

「くっ!」

遊夜LP4000 3100

「あたしはカードを2枚伏せターンエンドだ、」

舞LP1300 手札3

場

・ハーピィ・クイーン

・銀幕のミラーウォール

・セットカード

・セットカード

「俺のターン!」

遊夜 手札3  
場

- ・魔導騎士ディフェンダー（攻800）
- ・THA・トリッキー（攻1000）
- ・アマゾネスの聖戦士（攻900）

・セットカード

「俺はトリッキーとアマゾネスの聖戦士をリリース！来い！我が相棒！ブラック・マジシャン！！」

ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100  
魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス

「ふふふ、 銀幕のミラーウォール がある限り、勝てないわよ？」

「ふつ、それはどうかな？リバーズカードオープン！ ブラック・マジック 黒魔導 ！」

「これは場にブラックマジシャンが居る時発動可能！！相手の場の魔法、罫をすべて破壊する！！」

「っ！なら！ ゴッドバード・アタック 発動！ハーピー・クイーンを生贄に、ブラック・マジシャンと魔導騎士ディフェンダーを破壊する！！」

「…カードをセット、ターンエンド。」

遊夜 手札1  
場

・セットカード

「ふふふ、あたしのターン!!」

舞 LP1300 手札4

「あたしは星見鳥ラリスを召喚。」

ほしみどり  
星見鳥ラリス

効果モンスター

星3 / 風属性 / 鳥獣族 / 攻 800 / 守 800

このカードが戦闘を行う場合、ダメージステップの間このカードの攻撃力は

戦闘を行う相手モンスターのレベル×200ポイントアップする。

また、このカードが攻撃したダメージステップ終了時、このカードをゲームから除外し、

次の自分のターンのバトルフェイズ開始時に表側攻撃表示で自分フィールド上に戻る

「げっ…それがよ…。」

「ダイレクトアタック!」

遊夜 LP3100 2300

「カードを1枚伏せて、ターンエンド。」

舞LP1300 手札2  
場

- ・星見鳥ラリス(攻800)
- ・セットカード

「俺のターン!!」

遊夜 手札2  
場

- ・セットカード

「俺は 強欲な壺 を発動!カードを2枚ドロ!」

…よし!

「俺はガガガマジシャンを召喚!」

ガガガマジシャン

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1500 / 守1000

1ターンに1度、自分のメインフェイズ時に

1から8までの任意のレベルを宣言して発動することができる。

エンドフェイズ時まで、このカードのレベルは宣言したレベルとなる。

「ガガガマジシャン」は自分フィールド上に1体しか表側表示で存在できない。

このカードはシンクロ素材とする事はできない

「俺はレベル1を選択し、ラリスに攻撃! ガガガマジック!!」

「くっ」

舞 LP 1300 600

「俺はカードをセット、ターンエンド。」

遊夜 LP 2300 手札1

場

・ガガガマジシャン(攻1500)

・セットカード

「あたしのターンだ!!」

舞 LP 600 手札3

場

・セットカード

「あたしは ブラック・マジック 死者蘇生 でブラック・マジシャンを特殊召喚! 攻撃  
!ブラック・マジック 黒魔導 !!」

「リバースカードオープン! マジシャンズ・セレクト !! 攻撃を無効にし、相手の場の攻撃力が一番低いモンスターを破壊!」

「あたしは星見獣ガリスの効果を発動! このカードを相手に見せ、デッキの一番上を墓地に送る。そして、それがモンスターカードなら、このカードを特殊召喚出来る!」

ほしみじゅう  
星見獣ガリス

効果モンスター

星3 / 地属性 / 獣族 / 攻 800 / 守 800

手札にあるこのカードを相手に見せて発動する。

自分のデッキの一番上のカードを墓地へ送り、

そのカードがモンスターだった場合、

そのモンスターのレベル×200ポイントダメージを相手ライフに与え

このカードを特殊召喚する。

そのカードがモンスター以外だった場合、このカードを破壊する。

…おいおい、どんどんハーピー&アマゾネスじゃなくなってきたぞぞ。

「落ちたカードは…アマゾネス女王<sup>クイーン</sup>！よって、ガリスを特殊召喚！」

アマゾネス女王<sup>クイーン</sup>

効果モンスター

星6 / 地属性 / 戦士族 / 攻2400 / 守1800

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、

自分フィールド上に存在する「アマゾネス」と名のついたモンスター

は

戦闘では破壊されない。

遊夜LP2300 1100

「あたしはガリスを生贄に、もう一体のアマゾネス女王を召喚。これでターンエンド。」

舞LP600 手札0

場

・アマゾネス女王（攻2400）

・セットカード

「ワクワクするぜ！！俺のターン！」

遊夜LP1100 手札2

場

・ガガガマジシャン（攻1500）

…よっしゃ！

「俺はガガガマジシャンをレベル6にする。さらに 死者蘇生 を発動ブラック・マジシャンを蘇生する。…2体をリリースし、黒の魔法神官を特殊召喚！！攻撃だ！ セレスティア・ブラック・バーニング …！！」

黒の魔法神官（マジック・ハイエロファント・オブ・ブラック）

効果モンスター

星9 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻3200 / 守2800

このカードは通常召喚できない。

自分フィールド上に存在するレベル6以上の魔法使い族モンスター2体を

生け贄に捧げた場合のみ特殊召喚する事ができる。

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、

畏カードの発動を無効にし破壊する事ができる

「させない！リバーズカードオープン無駄だ！」っ！？畏が発動しない！？」

「黒の魔法神官が場にいる場合、罠の発動を無効にし、破壊できる！」

「そ、そんな!？」

「いつけええええええ!!！」

舞LP600 1200

遊夜LP1100

「…結構、危なかった。最後に 死者蘇生 がこなきや、凌ぎ様がなかった。」

「はぁ…あたしの負けか。」

「だが、いいデュエルだったぜ。遊夜、舞。」

「負けそうになったけどな。」

「やっぱり決めは黒の魔法神官だな、遊夜。」

「…そっさいやそうだな。」

…マジでフィニッシャーだな。

「決勝、頑張れよ。ぜってえ、マリクには負けんなよ。」

「ああ、負ける気は少しもない。」

「ああ。頼むぜ。」

【これより、全ての決闘は終了しました。デュエルシップにいる全ての者は自室へとお戻りください。】

「…いよいよ明日か。」

「ああ、そうだな。」

「…また明日、決勝で会おう。」

そう言い、遊戯は自室へと戻っていく。それにつられ、全員が自室へと戻っていった。

「…さて、俺も戻るかね。」

そう言い、戻ろうとする時、

「少し、お時間をいただけますか？」

謎の音が響いた…。

デュエルシップのデュエル、体いてえ…。(後書き)

最後のは、まあ、マリクの勘違いを発覚させるために必要なイベントですから……。

10月31日ガリスの効果を修正

11月2日、死者蘇生の召喚モンスターを修正

決戦！バトルロイヤル（前編）（前書き）

え？イシズさんはどうしたって？ああ、あれ、重要じゃないから、カットしました。…ごめんなさい嘘です、パソコンが消えて、データが消えて、書き直すのがめんどかつただけです

## 決戦！バトルロイヤル（前編）

今、俺はアルカトラズのバトルロイヤルを始めようとしているところだ。

昨日、不意打ち気味にイシズさんが来たから間違えて魔導波を撃つてしまいそうになった。実際は俺というイレギュラーの事情説明を要求してきた。まあ、色々とはぐらかして説明した。あとそれを遊戯たちに教えてやれと頼んだ。ああ、イシズさんが乗ってたのって、パズルカードを6枚集めた人は乗れるらしい。

「では！これよりバトルロイヤルを開始する！4人はそれぞれデッキからモンスターカードを選択し、その攻撃力順に先行が取れる。しかし、提示したモンスターカードは再びデッキに戻されることは許されない！」

そして、それぞれが選択したカードは、

|     |      |           |       |
|-----|------|-----------|-------|
| 海馬  | 仮面魔獣 | デス・カーディウス | 攻3300 |
| 遊戯  |      | グレムリン     | 攻1300 |
| マリク |      | レクンガ      | 攻1700 |
| 遊夜  | 霊滅術士 | カイクウ      | 攻1800 |

「これより決定した！先行から、海馬瀬戸、天月遊夜、マリク・イシユタール、武藤遊戯とします！」

「「「「」

デュエル  
決闘！！

「「「」

海馬 LP 4000  
遊夜 LP 4000  
マリク LP 4000  
遊戯 LP 4000

「俺の先行！！ドロー！！」

海馬 手札 6

「俺はカードを1枚カードを伏せ、ブラット・ヴォルス召喚！、ターンエンド」

ブラッド・ウォルス

通常モンスター

星4 / 闇属性 / 獣戦士族 / 攻1900 / 守1200  
悪行の限りを尽くし、それを喜びとしている魔獣人。  
手にした斧は常に血塗られている

海馬 手札 4

場

・ブラッド・ヴォルス（攻1900）  
・セットカード

「俺のターン！」

遊夜 手札 6

「俺はマジカル・コンダクターを攻撃表示で場に出し、カードを2枚伏せ、ターンエンド。」

遊夜 手札3

場

- ・マジカル・コンダクター（攻1700）
- ・セットカード
- ・セットカード

マジカル・コンダクター

効果モンスター

星4 / 地属性 / 魔法使い族 / 攻1700 / 守1400

自分または相手が魔法カードを発動する度に、

このカードに魔力カウンターを2つ置く。

このカードに乗っている魔力カウンターを任意の個数取り除く事で、

取り除いた数と同じレベルの魔法使い族モンスター1体を、

手札または自分の墓地から特殊召喚する。

この効果は1ターンに1度しか使用できない

「はっ！俺のターンか、ドロー！ ニュードリュア召喚！守備表示  
！」

ニュードリュア

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻1200 / 守 800

このカードが戦闘によって破壊され墓地へ送られた時、

フィールド上に存在するモンスター1体を破壊する

…正直言おう、俺はずっとニユードリユアをニユードリアだと思っていた。

「ターンエンドだ。」

マリク 手札5

場

・ニユードリユア(守800)

「俺のターン！！俺はビッグ・シールド・ガードナーを守備表示で召喚！」

ビッグ・シールド・ガードナー

効果モンスター

星4/地属性/戦士族/攻 1000/守2600

フィールド上に裏側表示で存在するこのモンスター1体を対象にする魔法カードの発動を無効にする。その時、このカードは表側守備表示になる。

「さらにカードを2枚伏せ、ターンエンドだ。」

遊戯 手札3

場

・ビッグ・シールド・ガードナー(守2600)

・セットカード

・セットカード

「フッ、俺のターンは…天月遊夜！お前に攻撃をする！」

おいおい俺にか、セットカードが2枚あるってのに、無用心だな。

「リバーズカードオープン！ マジシャンズ・セレクト ！！」

「ふははは！俺はリバーズカード、破壊輪 俺はブラッド・ヴオルスを選択！お互いにダメージを与える！」

「……なっ！」「」

海馬・遊戯・マリク・遊夜LP4000 2100

「早速ダメージが来たか。」

「フハハハハ！俺は コストダウン を発動！俺は手札からカードを1枚捨てることでモンスターのレベルを2下げる！俺はレベル4となったカイザー・グライダーを召喚だ！」

カイザー・グライダー

効果モンスター

星6 / 光属性 / ドラゴン族 / 攻2400 / 守2200

このカードは同じ攻撃力を持つモンスターとの戦闘では破壊されない。

このカードが破壊され墓地へ送られた時、

フィールド上のモンスター1体を持ち主の手札に戻す

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

海馬 手札1

場

・カイザー・グライダー（攻2400）

・セットカード

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札4

「俺は、ガガガマジシャンを召喚！」

ガガガマジシャン

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1500 / 守1000

1ターンに1度、自分のメインフェイズ時に

1から8までの任意のレベルを宣言して発動する事ができる。

エンドフェイズ時まで、このカードのレベルは宣言したレベルとなる。

「ガガガマジシャン」は自分フィールド上に1体しか表側表示で存在できない。

このカードはシンクロ素材とする事はできない

「俺は手札から魔法カード 賢者の石サバティエル を発動！俺はデッキから ガガガシールド を手札に加える。…そして、強欲な壺 を発動！カードを2枚ドロー、そしてカードを2枚伏せ、ターンエンド」

遊夜LP2100 1050 手札4

場

・マジカル・コンダクター（攻1700）

・ガガガマジシャン（攻1500）

・セットカード

・セットカード

・セットカード

「俺のターンだぁ！ドロー！俺はロードポイズンを召喚！」

ロードポイズン

効果モンスター

星4 / 水属性 / 植物族 / 攻1500 / 守1000

このカードが戦闘によって破壊され墓地に送られた時、自分の墓地に存在する「ロードポイズン」以外の

植物族モンスター1体を自分フィールド上に特殊召喚する

「そして、ニユードリアを攻撃表示！そして、天月遊夜のマジカル・コンダクターに攻撃い！」

「させるか！デイメンション・マジックを発動だ！俺はマジカル・コンダクターをリリースし、ブラック・マジシャンを特殊召喚！効果でニユードリアを破壊！」

ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100

魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス

「ちっ、（これじゃ、痛恨の呪術が使えん…！）カードをセットし、ターンエンド！」

マリク 手札4

場

・ロードポイズン（攻1500）

・セットカード

…マリク、それ格好の餌食だぞ？

「俺のターン！俺はビッグ・シールド・ガードナーを生贄に、暗黒魔族ギルファアードーモン召喚！」

┌

あんこくまぞく  
暗黒魔族ギルファアードーモン

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻2200 / 守2500

このカードが墓地へ送られた時、フィールド上に存在するモンスター1体を選択して発動することができる。

このカードを攻撃力500ポイントダウンの装備カード扱いとして、選択したモンスターに装備する。

「…俺は、これでターンエンドだ。」

遊戯 手札3

場

・暗黒魔族ギルファアードーモン(守2500)

・セットカード

・セットカード

「俺のターン！」

海馬 手札2

「俺は、マリク！貴様を攻撃する！！行け！カイザー・グライダー

「!!」

「ふおおお!!」

マリケLP2100 1200

「ふうん、俺はこれでターンエンドだ。」

海馬 手札2

場

- ・カイザー・グライダー(攻2400)
- ・セットカード

「俺のターンだ!...」

遊夜LP1050 手札4

場

- ・ブラック・マジシャン(攻2500)
- ・ガガガマジシャン(攻1500)
- ・セットカード
- ・セットカード

うわゝ、今ここでシンクロとかエクシーズとかしてカットビたい。  
ダメだ俺、自重自重。

「俺は...。こいつを召喚!ガガガガール!!」

ガガガガール

効果モンスター

星3/闇属性/魔法使い族/攻1000/守 800

自分フィールド上の「ガガガマジシャン」1体を選択して発動できる。

このカードは選択したモンスターと同じレベルになる。  
また、このカードを含む「ガガガ」と名のついたモンスターのみを素材としたエクシーズモンスターは以下の効果を得る。

このエクシーズ召喚に成功した時、  
相手フィールド上の特殊召喚されたモンスター1体を選択して発動できる。

選択したモンスターの攻撃力を0にする

「ガガガ、ガール…？」

「ふうん（やはり、ガガガマジシャンといい、サバティエルといい、我が社のカードではない…。どういことだ…コピーカードではないと鑑識はいつているが…。）」

「…俺のブラック・マジシャンとブラックマジシヤンガールのようなものか？」

…一応、遊戯は一回見てんだけどね…。

「俺はガガガマジシヤンをレベル8にする！で、ガガガガールの効果発動！このカードが場のガガガマジシヤンと同じレベルになる！」

「レベル8が2体…！」

「そつだ！俺は場のガガガ2体をリリース！来い！黒の魔法神官！」

黒の魔法神官（マジック・ハイエロファント・オブ・ブラック）

効果モンスター

星9 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻3200 / 守2800

このカードは通常召喚できない。

自分フィールド上に存在するレベル6以上の魔法使い族モンスター2体を

生け贄に捧げた場合のみ特殊召喚することができる。

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、  
罨カードの発動を無効にし破壊することができる

「な、何い!？」

「これで、俺たちの罨は封じこめられた!！」

「俺は、…マリクへダイレクトアタック!」

「ふっ…俺は手札からバトル・フェーダーを特殊召喚し、バトルフェイズをスキップする!」

バトルフェーダー

効果モンスター

星1 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻 0 / 守 0

相手モンスターの直接攻撃宣言時に発動することができる。

このカードを手札から特殊召喚し、バトルフェイズを終了する。

この効果で特殊召喚したこのカードは、

フィールド上から離れた場合ゲームから除外される

「!?!」

バトルフェーダーって、確かまだこの時代出てなかっただろ!?

「ちっ、ターンエンド。」

遊夜LP1050 手札2

場

- ・ブラック・マジシャン(攻2500)
- ・黒の魔法神官(攻3200)
- ・セットカード
- ・セットカード

「俺のターン!俺は、バトルフェーダーを攻撃表示、そして、強制転移 発動!俺が選ぶのは…海馬!お前だ!」

モンスター交換、マリクは海馬に嫌なカードを使ってくるな。(注

遊夜は 奇跡のマジックゲート を持っています)

「俺は、カイザー・グライダーを選択!」

「そして、俺はブラック・マジシャンと黒の魔法神官の2体をリリースし、天月遊夜の場に溶岩魔人ラヴァ・ゴーレム召喚!」

ようがんましん  
溶岩魔神ラヴァ・ゴーレム

効果モンスター

星8/炎属性/悪魔族/攻3000/守2500

このカードは通常召喚できない。

相手フィールド上に存在するモンスター2体をリリースし、手札から相手フィールド上に特殊召喚する。

自分のスタンバイフェイズ毎に、自分は1000ポイントダメージを受ける。

このカードを特殊召喚するターン、自分は通常召喚できない。

「げえっ！俺にも来たかよ！」

「俺はカイザー・グライダーでバトルフェーダーを攻撃い！！」

「させん！ 攻撃誘導アーマー！！俺は遊戯のギルファアードモンを選択！」

「そうはいかない！リバーズカードオープン！ 盗賊の七つ道具！！！」

遊戯LP 2100 1100

「馬鹿なああああ！！！」

海馬LP 2100 - 300

…海馬のLPはゼロになった、さて、次の遊戯のターンで何が起きるか…。

決戦！バトルロイヤル（前編）（後書き）

時間が足りませんでした。頑張りましたデータ消えて、即効でこれ仕上げましたから。そして、なぜ、マリクがバトルフェーダー持つてるって??何でもありだ、いいじゃないか！作者の力量が低いんだもの！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0816x/>

---

遊戯王 魔法使いを使う決闘者

2011年11月3日02時12分発行